magicolor® 2480 MF
ユーザーズガイド

4556-9593-02K
1800794-014C

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2480 MF は、Windows の環境でお使いいただくのに最適な複合機です。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。http://printer.konicaminolta.jp より"サポート"を選び、"オンラインユーザー登録"にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標または、登録商標です。magicolor は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標または、登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者 (以下、譲受人) に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

とくに法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■法律によりコピーを禁止されているもの

・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券

・外国紙幣、証券類

・未使用郵便切手、官製はがき類

・政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■注意を必要とするもの

・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。

・民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

法律で禁止されている紙幣などのコピーを防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。

本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ることがあります。ご了承ください。

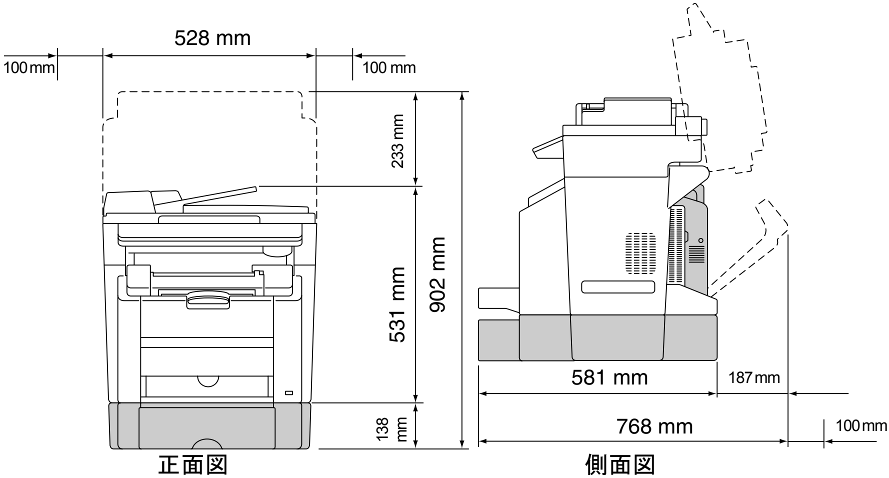
もくじ

1 はじめに

お使いになる前に

設置スペース

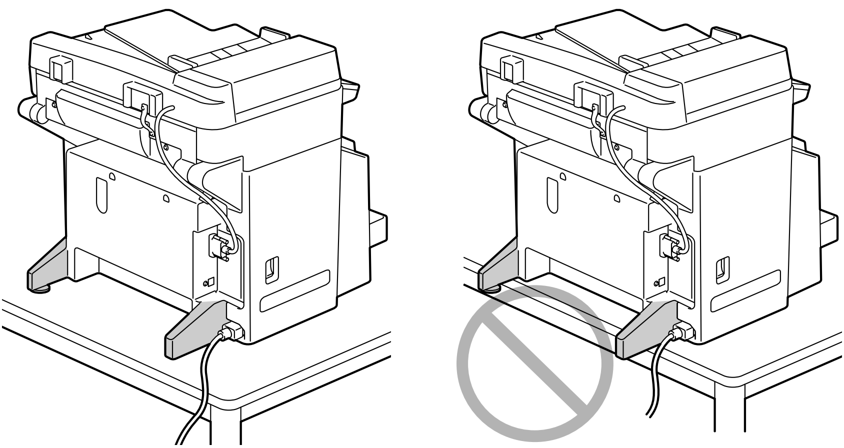
操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。



上記イラストの網掛け部はオプションです。

設置時の注意

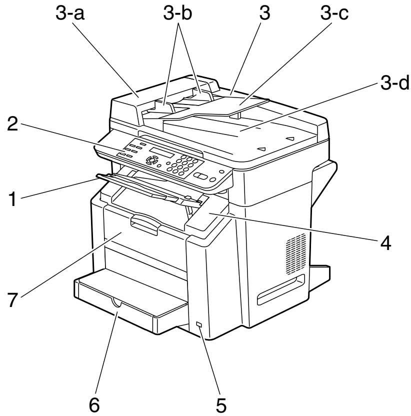
本機を台の上に設置する場合は、支柱が台の外にはみ出ていないことを確認してください。



各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面



1 排紙トレイ

2 操作パネル

3 自動原稿送り装置（ADF）
3-a ADF カバー
3-b ガイド板
3-c 原稿給紙トレイ
3-d 原稿排紙トレイ

エラーメッセージなどで、ADF を「ドキュメントカバー」と表示する場合があります。

4 トップカバー

5 デジタルカメラ ダイレクト印刷用ポート

6 トレイ 1

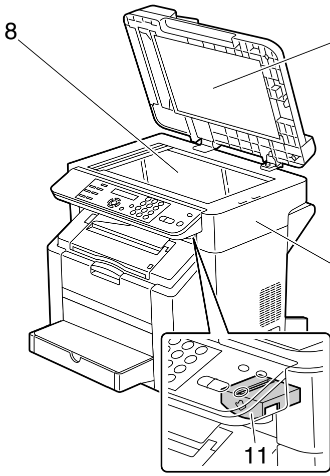
7 正面カバー

8 原稿ガラス

9 原稿カバーパッド

10 スキャナユニット

11 スキャナユニット解除レバー



12 電源スイッチ

13 USB ポート

14 定着ユニット

15 定着ユニット解除レバー

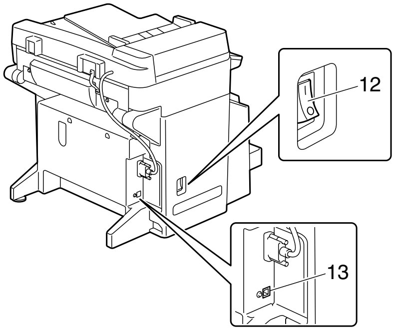
16 転写ベルト

17 ドラムカートリッジ

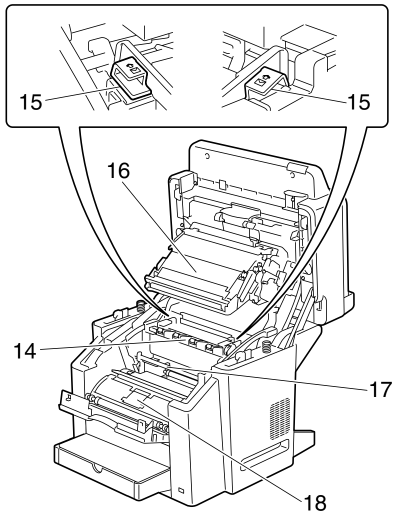
18 トナーカートリッジホルダー

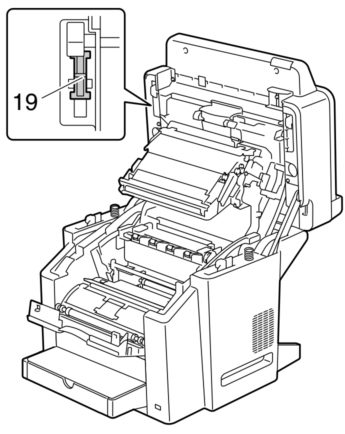
トナーカートリッジ（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）をセットします。

19 スキャナロック

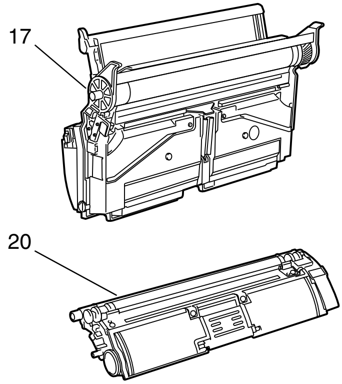


（背面図）



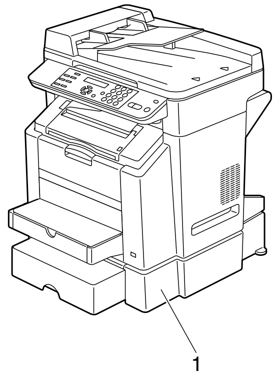


20 トナーカートリッジ



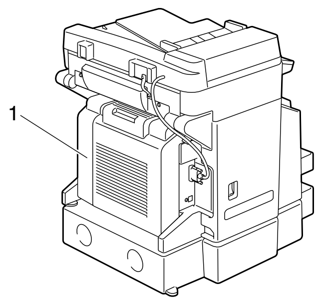
前面（オプション装着時）

1　トレイ 2



背面（オプション装着時）

1　自動両面ユニット



ソフトウェアについて

2

Utilities & Documentation CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/2000/Me/98SE 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する」（p.27）をごらんください。

スキャナドライバ

スキャナドライバ	機能
TWAIN ドライバ （Windows XP/2000/Me/98SE 用）	色の設定やサイズの調整など、スキャナの機能を設定できます。 詳しくは、「TWAIN ドライバの設定」（p.101）をごらんください。
WIA ドライバ （Windows XP 用）	色の設定など、スキャナの機能を設定できます。 詳しくは、「WIA ドライバの設定」（p.103）をごらんください。

ドライバのインストールについては、「magicolor 2480 MF インストレーションガイド」をごらんください。

Application CD-ROM について

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
PaperPort	パソコン上でドキュメントや画像ファイルの整理、アクセス、共有、および管理ができる文書管理ソフトウェアです。機能や使い方について詳しくは、magicolor 2480 MF Application CD-ROM に収録されるユーザーズガイドをごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨)
- オペレーティングシステム：
  - Microsoft Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows 2000（Service Pack 4 以降）, Windows Me, Windows 98SE
- 空きハードディスク容量：
  - 256 MB 以上
- メモリ：
  OS が推奨する以上
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - USB 2.0 準拠インターフェースポート

プリンタドライバの初期設定／オプションの設定

本機を使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

プリンタドライバのインストールについては、「magicolor 2480 MF インストレーションガイド」をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Professional の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

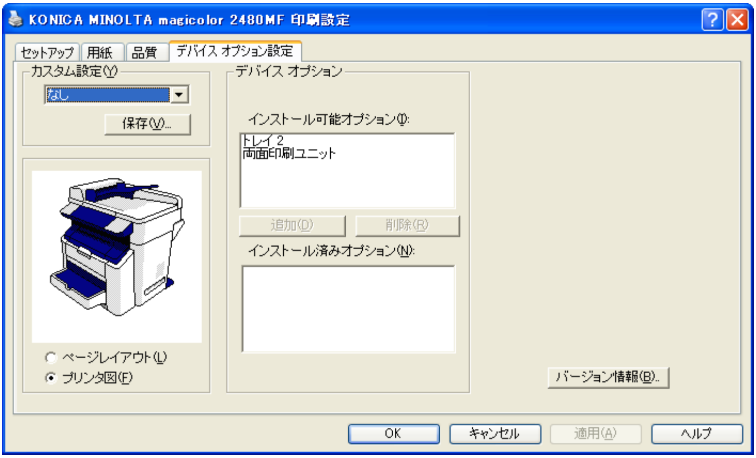
［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

– Windows Me/98SE の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 6 へ進んでください。

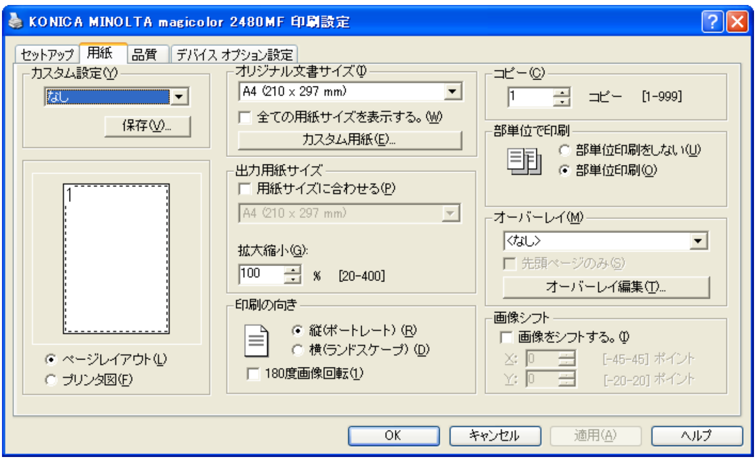
3 「デバイス オプション設定」タブをクリックします。



4 「インストール可能オプション」リストから、装着したオプションを一つずつ選択して、［追加］をクリックします。

5 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

6 「用紙」タブをクリックします。



7 使用する用紙のサイズなど、本機の初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「プリンタ ドライバの設定」（p.28）をごらんください。

8 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

9［OK］をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

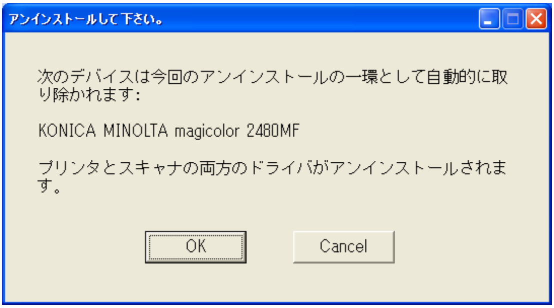
ドライバのアンインストール

ここでは、プリンタドライバおよびスキャナドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

1 以下の手順でアンインストールプログラムを起動します。

- **Windows XP Home/Professional の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」―「KONICA MINOLTA」―「magicolor 2480MF」―「アンインストール」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」―「KONICA MINOLTA」―「magicolor 2480MF」―「アンインストール」をクリックします。

2 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。



3 処理が完了して下図のような画面が表示されたら、［完了］をクリックします。



コンピュータが再起動し、プリンタドライバおよびスキャナドライバがコンピュータからアンインストールされます。

プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000/Me/98SE

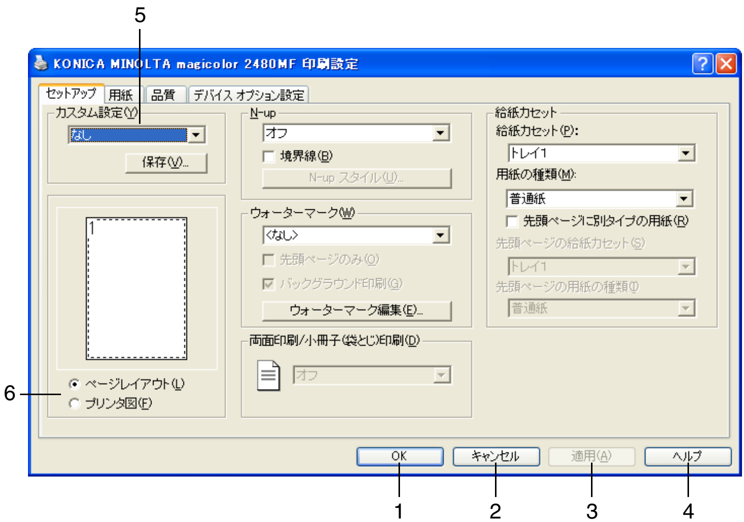
1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- **Windows Me/98SE の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタドライバの設定

各タブで共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

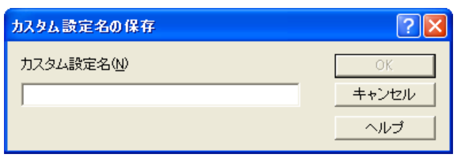
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. カスタム設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックするとカスタム設定名の保存画面が表示されます。
名称を入力して、［OK］をクリックすると現在の設定

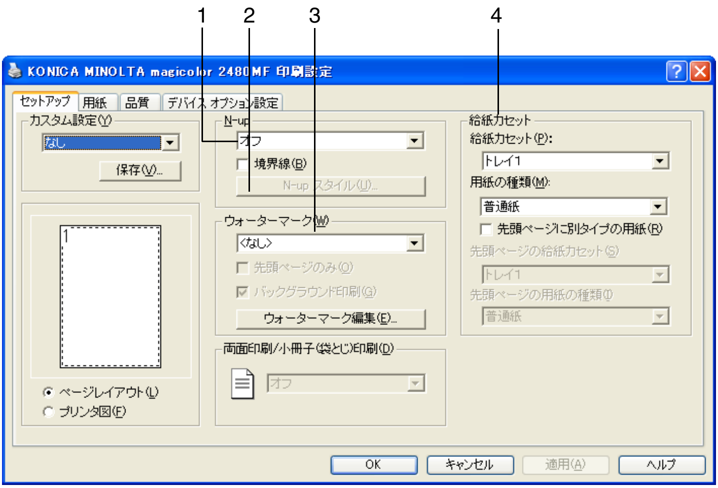


が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。
ドロップダウンリストで「既定値」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

6. ページレイアウト / プリンタ図

［ページレイアウト］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。［プリンタ図］をクリックすると、本機の外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。

「セットアップ」タブ



1. N-up

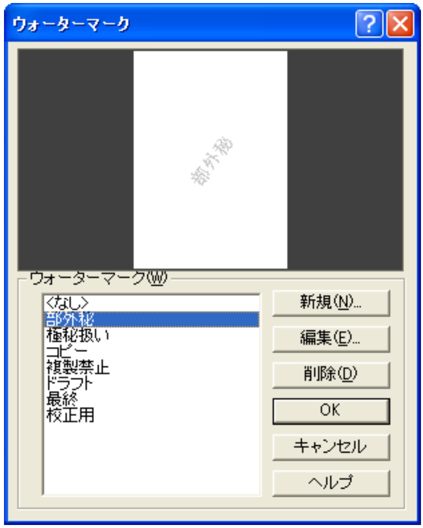
複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「オフ」以外の設定を選択した場合、[N-up スタイル] ボタンが有効になります。
[N-up スタイル] をクリックすると、N-up スタイル画面が表示され、用紙内でのページの並べ方を選択します。
「境界線」チェックボックスをチェックすると、各ページの境界に線が付きます。

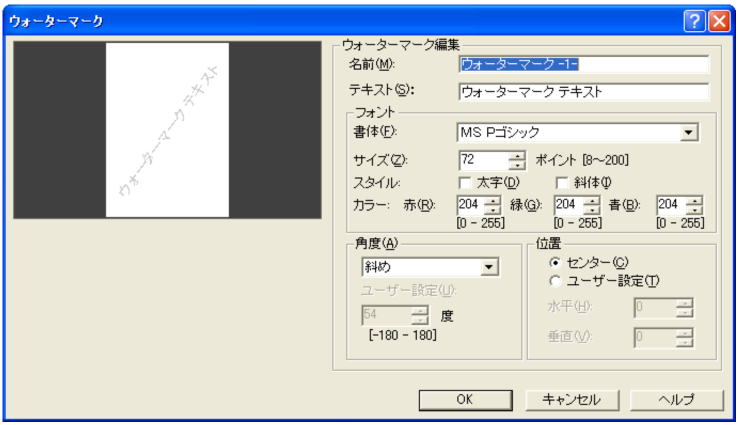


2. ウォーターマーク

印刷する文書に「親展」などのテキストを重ねて印刷します。
「先頭ページのみ」をチェックすると、先頭ページのみにウォーターマークが印刷されます。
「バックグラウンド印刷」をチェックすると、印刷される文字や文書の背面にウォーターマークが印刷されます。

［ウォーターマーク編集］をクリックすると、ウォーターマークの一覧画面が表示され、ウォーターマークの新規作成と編集ができます。
ここで作成したウォーターマークは「セットアップ」タブのリストに表示されます。





3. 両面印刷 / 小冊子（袋とじ）印刷

両面印刷を行う場合の、ページレイアウトの方法を選択します。
詳しくは、「両面印刷」（p.81）をご覧ください。

「両面印刷 / 小冊子（袋とじ）印刷」は、オプションの自動両面ユニットを装着し、プリンタドライバで正しく設定されている場合に有効です。

自動両面ユニットが正しく設定されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定」（p.23）を参照して、設定を行ってください。

4. 給紙カセット

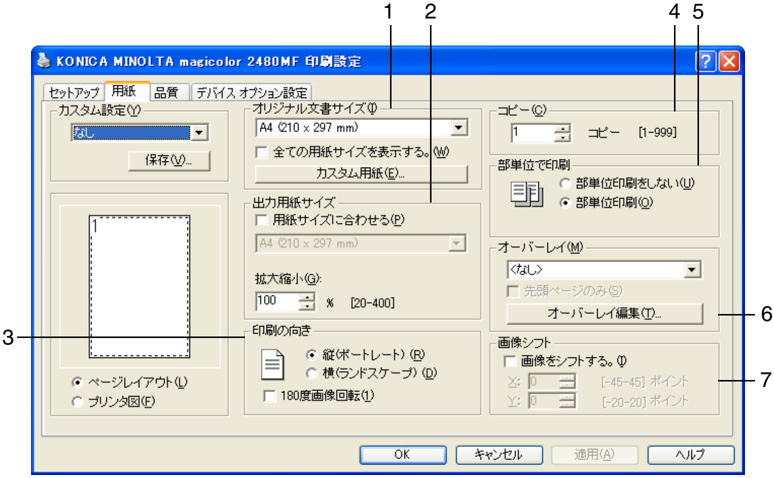
印刷に使用する給紙トレイや用紙の種類を選択します。
オプションのトレイ 2 を装着している場合は、「給紙カセット」のリストに「トレイ 2」が表示され、選択することができます。

「トレイ 2」の項目は、オプションのトレイ 2 を装着し、プリンタドライバで正しく設定されている場合に有効です。
トレイ 2 が正しく設定されていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定」(p.23) を参照して、設定を行ってください。

最適な印刷結果を得るためには、「用紙の種類」で選択する項目とトレイにセットする用紙を一致させてください。

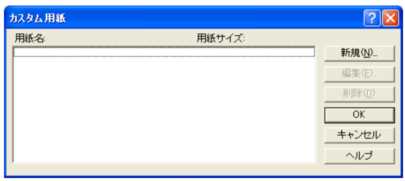
「先頭ページに別タイプの用紙」をチェックすると、印刷するデータの表紙だけを別の種類の用紙で印刷することができます。「先頭ページの給紙カセット」「先頭ページの用紙の種類」で、表紙に使用する給紙トレイと用紙の種類を選択します。

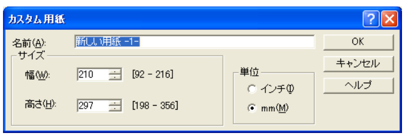
「用紙」タブ



1. オリジナル文書サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
［カスタム用紙］をクリックすると、カスタム用紙設定画面が表示され、カスタム用紙サイズを作成・編集できます。





通常は標準的な用紙サイズのみが表示されますが、「全ての用紙サイズを表示する」をチェックすると、プリンタドライバが対応している全ての用紙サイズが一覧に表示されます。

2. 出力用紙サイズ

印刷倍率を設定します。
「用紙サイズに合わせる」をチェックすると、一覧から用紙サイズを選択可能になり、その用紙サイズに合わせた倍率でデータが印刷されます。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「拡大縮小」に数値を入力します。倍率は 20%から 400%の間で設定できます。

3. 印刷の向き

印刷の向きを「縦（ポートレート）」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。

「180 度画像回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

4. コピー

印刷する部数を設定します。

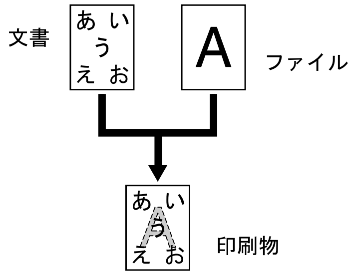
5. 部単位で印刷

「部単位印刷」を選択すると、部単位で印刷（ソート）を行います。

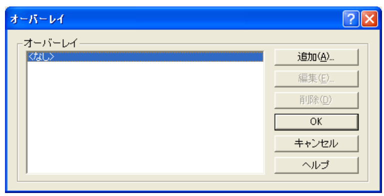
必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

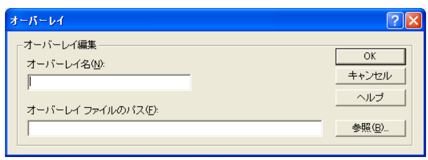
6. オーバーレイ

印刷する文書に任意のイメージを取り込み、重ね合わせて印刷を行います。
「オーバーレイ」ドロップダウンリストから、使用するオーバーレイを選択します。



［オーバーレイ編集］をクリックすると、オーバーレイ編集画面が表示され、オーバーレイの追加・編集・削除ができます。ここではオーバーレイファイルの選択と名称の設定を行います。
「先頭ページのみ」をチェックすると、オーバーレイは文書の先頭ページのみに印刷されます。





オーバーレイを作成するには、任意のアプリケーションでデータを作成し、「ファイルに出力」オプションを選択して印刷を行います。これにより作成される prn ファイルをオーバーレイとして使用します。

オーバーレイが複数のページにまたがる場合は、最初のページのデータだけがオーバーレイとして使用されます。

7. 画像シフト

用紙に印刷される文書の位置を設定します。

「画像をシフトする」チェックボックスをチェックすると、文書の印刷位置を 1 ポイント（1/72 インチ）単位で移動することができます。

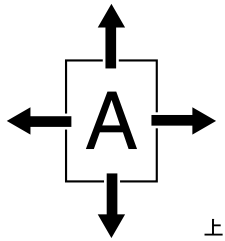
縦（ポートレート）の文書の場合は、X で指定されたポイントだけ左右方向に画像をシフトさせ、Y で指定されたポイントだけ上下方向に画像をシフトします。

横（ランドスケープ）の文書の場合は、Y で指定されたポイントだけ左右方向に画像をシフトさせ、X で指定されたポイントだけ上下方向に画像をシフトします。

画像が移動する方向は右図を参照してください。

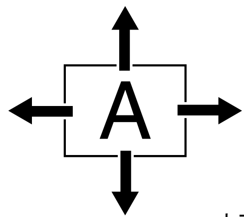
1 ポイントは約 0.35 mm です。

縦（ポートレート）の場合



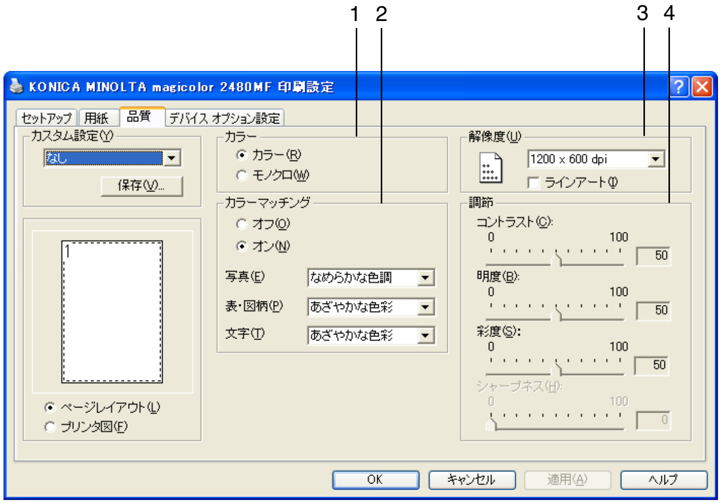
上下方向：Y
左右方向：X

横（ランドスケープ）の場合



上下方向：X
左右方向：Y

「品質」タブ



1. カラー

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. カラーマッチング

スクリーン上の色合いを忠実に表現するように本機の色合いを調整する、カラーマッチング機能を使用するかどうかを指定します。
「オン」を選択した場合は、写真（イメージ）、表・図柄（グラフィックス）、文字（テキスト）のそれぞれに対して、「なめらかな色調」「測色的に一致」「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択することができます。

DTP アプリケーション等で、アプリケーションの持つカラーマッチング機能を使って出力する場合には、この設定をオフにしてください。

3. 解像度

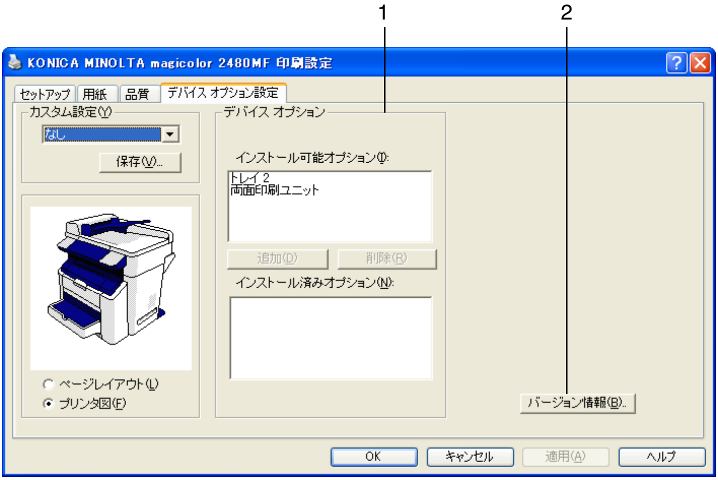
印刷時の解像度を dpi（1 インチあたりの印字ドット数）で設定します。
「600 × 600dpi」「1200 × 600dpi」「2400 × 600dpi」から選択できます。
「ラインアート」をチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができますが、再現できる階調数が少なくなります。

4. 調節

印刷する画像のコントラスト、明るさ（明度）、鮮やかさ（彩度）、シャープネスを設定します。

このタブの「カラー」および「カラーマッチング」で選択した項目によって、調節可能な項目は異なります。

「デバイス オプション設定」タブ

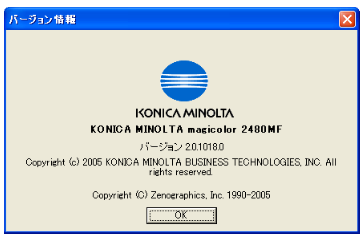


1. デバイス オプション

本機にオプションを取り付ける場合に設定します。
「インストール可能オプション」には本機に取り付け可能な全てのオプションが、「インストール済みオプション」には既にインストールされているオプションが表示されます。
「追加」および「削除」で、オプションのインストール・削除を行うことができます。
詳しくは「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定」（p.23）をごらんください。

2. バージョン情報

プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

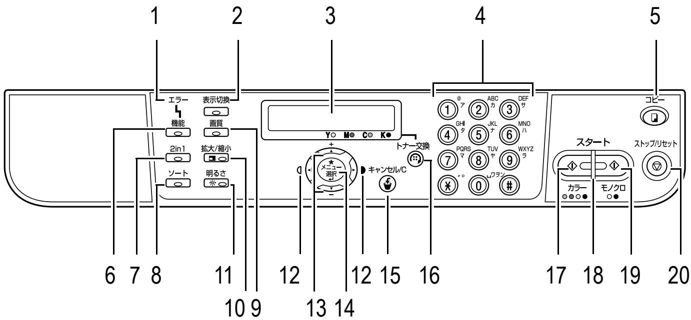


操作パネルとメニュー

3

操作パネルについて

本機上部にある操作パネルでは、直接本機の操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウには本機の状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。



操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	エラーランプ	問題なし	操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。）

No.	キー	機能
2	表示切換キー	■ トナーカートリッジのトナー残量を表示します。詳しくは、「トナー残量画面」（p.43）をごらんください。 ■ プリントまたはスキャンの枚数を表示します。詳しくは、「プリント / スキャンしたページ数を確認する」（p.44）をごらんください。 ■ 本機の設定リストをプリントします。詳しくは、「ステータスリスト（Status List）を印刷する」（p.140）をごらんください。

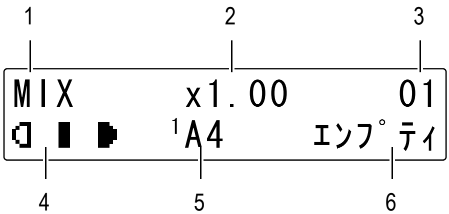
No.	キー	機能
3	**メッセージウィンドウ**	■ 用紙の種類、コピーの濃度、倍率などを表示します。詳しくは、「メッセージウィンドウの表示について」（p.42）をごらんください。 ■ エラー発生時には、エラーメッセージを表示します。詳しくは、「ステータス、エラー、サービスのメッセージ」（p.176）をごらんください。
4	**テンキー**	コピー枚数などの数値を入力します。
5	**コピーキー**	コピーが可能なときは、緑色に点灯します。 コピー機能については、「コピー機能を使う」（p.91）をごらんください。
6	**機能キー**	トレイの選択および両面コピーの設定を行います。 *オプションのトレイ 2 または自動両面ユニットを装着している場合に設定できます。*
7	**2in1 キー**	2in1 コピーを行います。
8	**ソートキー**	コピーを部数ごとに分けて排紙します。
9	**画質キー**	コピーする原稿の種類と解像度を設定します。
10	**拡大 / 縮小キー**	拡大 / 縮小コピーの倍率をプリセットから選択します。
11	**明るさキー**	■ メッセージウィンドウの明るさを設定します。 ■ コピーの濃度を設定します。
12	**◐/◗（左 / 右）キー**	■ コピーの濃度を設定します。 ■ 設定メニューの表示中は、項目を左右に移動します。
13	**＋ / －（上 / 下）キー**	■ コピーの倍率を 0.01 刻みで設定します。（設定範囲：0.50 ～ 2.00） ■ 設定メニューの表示中は、項目を上下に移動します。
14	**メニュー選択キー**	■ 設定メニューを表示します。 ■ 表示されている設定を決定します。
15	**キャンセル /C キー**	■ 表示されている設定をキャンセルします。 ■ 設定メニューからメインスクリーンに戻ります。
16	**トナー交換キー**	トナーカートリッジの交換メッセージを表示します。詳しくは、「トナーカートリッジの交換」（p.106）をごらんください。
17	**スタート（カラー）キー**	フルカラーのコピーを開始します。

No.	キー	機能
18	スタートランプ	コピーが可能なときは、緑色に点灯します。 ウォーミングアップ中、エラー発生時などコピーが不可能なときは、オレンジに点灯します。
19	スタート（モノクロ）キー	モノクロのコピーを開始します。
20	ストップ / リセットキー	■ コピー、原稿の読み込みを中止します。 ■ 設定したコピー枚数をクリアします。 ■ 2in1、ソート、画質、拡大 / 縮小、明るさ設定を初期値に戻します。 ■ トナー交換モードから通常モードに戻ります。

メッセージウィンドウの表示について

本機はメッセージウィンドウで装置の状態や、エラーメッセージなどを確認できます。

メイン画面



No.	表示	詳細
1	原稿の種類	画質キーと設定メニューで指定した、コピーする原稿の種類が表示されます。
2	倍率	拡大 / 縮小コピーの倍率が表示されます。 2in1 コピー設定時は、 アイコンが右側に表示されます。
3	コピー枚数	コピー枚数を表示します。ソート設定時は、 アイコンが左側に表示されます。
4	コピー濃度	コピー濃度を表示します。
5	用紙トレイ / 用紙サイズ	選択している用紙トレイと用紙サイズが表示されます。
6	ステータス	用紙切れなどの時に、メッセージが表示されます。

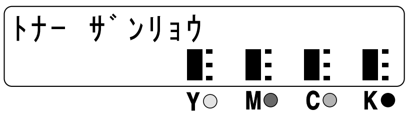
プリント画面

プリントジョブを受信すると、メイン画面のステータス領域に「PC ﾌﾟﾘﾝﾄ」と表示されます。プリント画面を表示するには、表示切換キーを押してから、「PC ﾌﾟﾘﾝﾄ」が表示されるまで右キーを押します。



No.	表示	詳細
1	ステータス	印刷中などのメッセージが表示されます。
2	用紙トレイ / 用紙サイズ	選択している用紙トレイと用紙サイズが表示されます。

トナー残量画面



メイン画面の表示中に表示切換キーを押すと、トナー残量画面が表示されます。この画面にはトナー残量の概算値が表示されます。

トナー残量画面からメイン画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

プリント / スキャンしたページ数を確認する

プリントまたはスキャンしたページ数を、メッセージウィンドウに表示できます。

プリントしたページ数を確認する

押すキー	メッセージウィンドウ
表示切換キー	トナー残量画面
◗（右）キー	ﾄｰﾀﾙｶｳﾝﾀ
メニュー選択キー	ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｶｳﾝﾀ
メニュー選択キー	ｿｳﾌﾟﾘﾝﾄｽｳ ｶﾗｰ ｺﾋﾟｰ X （X はページ数） ＋ / キーを押すと、ｶﾗｰ ﾌﾟﾘﾝﾄ、ｼﾛｸﾛ ｺﾋﾟｰ、ｼﾛｸﾛ ﾌﾟﾘﾝﾄのページ数が表示されます。 メイン画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

スキャンしたページ数を確認する

押すキー	メッセージウィンドウ
表示切換キー	トナー残量画面
◗（右）キー	ﾄｰﾀﾙｶｳﾝﾀ
メニュー選択キー	ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ ｶｳﾝﾀ
◗（右）キー	ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝｶｳﾝﾀ
メニュー選択キー	ｿｳｽｷｬﾝｽｳ ｽｷｬﾝｽｳ X （X はページ数） メイン画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

操作パネルのメニュー一覧

本機の操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

メインメニュー

メインメニューを表示するには、メニュー選択キーを押します。

- ﾒｲﾝ ｽｸﾘｰﾝ
  - ｿｳﾁ ﾉ ｾｯﾃｲ
    - 1 ﾊﾟﾈﾙﾉｼﾞﾄﾞｳﾘｾｯﾄ
    - 2 ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ
    - 3 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ
    - 4 LANGUAGE
    - 5 ﾗﾝﾌﾟ ｵﾌ ｼﾞｶﾝ
  - ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ
    - 1 ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ
    - 2 ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼ *
  - ｺﾋﾟｰ ﾉ ｾｯﾃｲ
    - 1 ﾖｳｼﾉﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ
    - 2 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ
    - 3 ｼｱｹﾞ ﾉ ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ
    - 4 ｹﾞﾝｺｳ ｼｭﾙｲ
    - 5 ｶﾞｼﾂ
  - ｼｮｷ ﾕｰｻﾞｰ ﾃﾞｰﾀ
    - 1 ﾋﾂﾞｹ ﾄ ｼﾞｺｸ
    - 2 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ
    - 3 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ
  - ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ
    - 1 ｶﾞｿﾞｳﾋﾝｼﾂ
    - 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
    - 3 N-UP ﾚｲｱｳﾄ

* 本メニューはオプションのトレイ 2 を装着している場合に表示されます

装置の設定メニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ﾊﾟﾈﾙﾉｼﾞﾄﾞｳﾘｾｯﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、全ての設定を取り消し、初期設定に戻すかどうかを選択します。 ｵﾝを選択した場合、自動リセット機能がはたらくまでの時間を選択します。 時間の設定範囲 0.5、1、2、3、4、5 分 （工場出荷時の設定値は 1 分） ｵﾌを選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。	
2 ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	1-**15**-50
	本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 単位は分です。	
3 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ	設定	ｱｶﾙｲ ◁□□□■□▶ ｸﾗｲ
	メッセージウィンドウの明るさを設定します。	
4 LANGUAGE	設定	ENGLISH / **ﾆﾎﾝｺﾞ** / ﾌﾗﾝｽｺﾞ / ﾄﾞｲﾂｺﾞ / ｽﾍﾟｲﾝｺﾞ / ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙｺﾞ / ｲﾀﾘｱｺﾞ / ﾁｪｺｺﾞ
	メッセージウィンドウの表示言語を選択した言語に切り替えることができます。	
5 ﾗﾝﾌﾟ ｵﾌ ｼﾞｶﾝ	設定	**ﾓｰﾄﾞ 1**/ ﾓｰﾄﾞ 2
	何も操作が行われなかった場合に、スキャナユニットのランプをオフにするまでの時間を設定します。 「ﾓｰﾄﾞ 1」に設定した場合は、本機が節電モードに移行するとランプがオフになります。 「ﾓｰﾄﾞ 2」に設定した場合は、本機が節電モードに移行した 10 分後にランプがオフになります。	

給紙トレイメニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ	用紙種類	**ﾌﾂｳｼ** / ｱﾂｶﾞﾐ /OHP ﾌｨﾙﾑ / ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ / ﾗﾍﾞﾙﾖｳｼ / ｺｳﾀｸｼ / ﾌｳﾄｳ / ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ
	用紙サイズ	封筒・官製はがき以外の場合：ﾚﾀｰ / EXECUTIVE/STATEMENT/**A4**/B5/A5/ F4/ ﾘｰｶﾞﾙ 封筒の場合 : **ﾖｳｹｲ -0**/ ﾖｳｹｲ -4/ ﾖｳｹｲ -6/ COM10/C5/DL/MONARCH/C6 官製はがきの場合：**ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ**/ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ
	トレイ 1 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。 用紙の種類を設定した場合は、メッセージウィンドウに使用可能な用紙サイズが表示されます。	
2 ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼ	用紙種類	ﾌﾂｳｼ
	用紙サイズ	ﾚﾀｰ /A4
	トレイ 2 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。 トレイ 2 にセットできる用紙の種類は普通紙のみです。 本メニューはオプションのトレイ 2 を装着している場合に表示されます。	

コピーの設定メニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

1 ﾖｳｼﾉﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ	設定	**ﾄﾚｲ 1** / ﾄﾚｲ 2
	通常使用する給紙トレイを設定します。 *「ﾄﾚｲ 2」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。* *メイン画面の表示中にストップ／リセットキーが押されると、この項目は「ﾄﾚｲ 1」に設定されます。*	
2 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ	設定	ｱｶﾙｲ ◁□□□■□□□▶ ｸﾗｲ
	通常使用するコピー濃度を設定します。	
3 ｼｱｹﾞ ﾉ ﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ	設定	**ﾉﾝｿｰﾄ** / ｿｰﾄ
	通常使用するコピーのソート方法を設定します。 *メイン画面の表示中にストップ／リセットキーが押されると、この項目は「ﾉﾝｿｰﾄ」に設定されます。*	
4 ｹﾞﾝｺｳ ｼｭﾙｲ	設定	**MIX**/ ﾃｷｽﾄ / ｼｬｼﾝ
	コピーする原稿の種類を設定します。 *メイン画面の表示中にストップ／リセットキーが押されると、この項目は「MIX」に設定されます。*	
5 ｶﾞｼﾂ	設定	**ﾉｰﾏﾙ** / ﾌｧｲﾝ
	プリントの解像度を設定します。 *メイン画面の表示中にストップ／リセットキーが押されると、この項目は「ﾉｰﾏﾙ」に設定されます。*	

「4 ｹﾞﾝｺｳ ｼｭﾙｲ」および「5 ｶﾞｼﾂ」は、画質キーで設定することもできます。
画質キーを 1 回押すと「4 ｹﾞﾝｺｳ ｼｭﾙｲ」が表示され、2 回押すと「5 ｶﾞｼﾂ」が表示されます。

初期ユーザーデータメニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td>1 ﾋﾂﾞｹ ﾄ ｼﾞｺｸ</td><td colspan="2">本機に内蔵されている時計の日付と時刻をテンキーで設定します。
時刻は 24 時間表記で設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ</td><td>設定</td><td>MM/DD/YYYY, DD/MM/YYYY, YYYY/MM/DD</td></tr>
<tr><td colspan="2">「1 ﾋﾂﾞｹﾄｼﾞｺｸ」で設定する、年、月、日の表記方法を設定します。
YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ</td><td>設定</td><td>ｲﾝﾁ / ﾒﾄﾘｯｸ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。</td></tr>
</table>

カメラダイレクトメニュー

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ｶﾞｿﾞｳﾋﾝｼﾂ</td><td>設定</td><td>ﾄﾞﾗﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾌｧｲﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラダイレクト印刷時の画像解像度を選択します。
ﾄﾞﾗﾌﾄ：600 dpi × 600 dpi
ﾉｰﾏﾙ：1200 dpi × 600 dpi
ﾌｧｲﾝ：2400 dpi × 600 dpi</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ</td><td>設定</td><td>ﾚﾀｰ/A4/A5/B5/ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ/ﾚﾀｰ 2UP SPL /A4 4UP SPL/A4 2UP SPL</td></tr>
<tr><td colspan="2">カメラダイレクト印刷で使用する用紙サイズを選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 N-UP ﾚｲｱｳﾄ</td><td>設定</td><td>1/2/3/4/6/8</td></tr>
<tr><td colspan="2">1 枚の用紙に印刷する画像の数を設定します。</td></tr>
</table>

カメラダイレクト 4

カメラダイレクト印刷をする

PictBridge（1.0 以降）対応のデジタルカメラと本機を USB で接続し、デジタルカメラに納められた画像を直接印刷することができます。

デジタルカメラの操作方法については、デジタルカメラの取扱説明書をごらんください。

本機では、下記の機能をサポートしません。
・DPOF 印刷
・フチなし印刷
・DPOF ケーブル接続エラーの回復
インデックスプリントおよび N-UP レイアウトは、用紙サイズがレターまたは A4 の場合にのみ使用できます。

カメラダイレクト印刷はトレイ 1 のみ使用できます。カメラダイレクトメニューで設定したサイズの用紙がトレイ 1 にセットされていることを確認してください。

デジタルカメラの操作方法については、デジタルカメラの取扱説明書をごらんください。カメラダイレクト印刷で使用可能な用紙の種類は、普通紙、厚紙、ラベル紙、光沢紙、はがきです。

デジタルカメラから直接印刷する

1 必要に応じて本機の操作パネルで、「ｶﾞｿﾞｳﾋﾝｼﾂ」、「ﾖｳｼｻｲｽﾞ」、「N-UP ﾚｲｱｳﾄ」を設定します。

画像を印刷する用紙の種類は、本機側でのみ設定できます。
デジタルカメラ側で用紙種類を選択することはできません。

デジタルカメラ側でこれらの設定（用紙種類および用紙サイズの設定は除く）が出来る場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。デジタルカメラでの設定が操作パネルの設定より優先されます。
操作パネルでの詳しい設定については、「カメラダイレクトメニュー」（p.50）をごらんください。

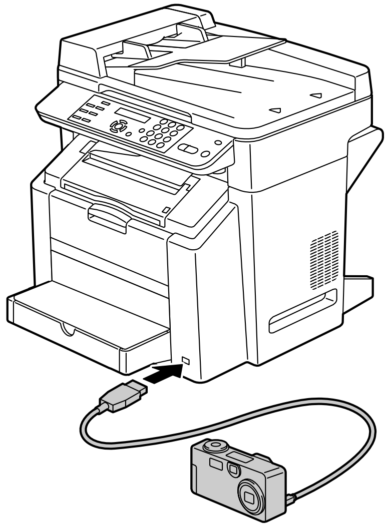
カメラ上で設定された用紙サイズ（画像サイズ）がカメラダイレクトメニューの「ﾖｳｼｻｲｽﾞ」で設定したサイズよりも大きい場合、印刷はできません。

2 デジタルカメラと、カメラダイレクト印刷ポートを USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルは本機には同梱されていません。お使いのデジタルカメラに USB ケーブルが同梱されていない場合は、別途お買い求めください。

3 デジタルカメラから、印刷したい画像と枚数の設定をします。

4 デジタルカメラで印刷を開始します。



5 用紙の取り扱い

使用できる出力用紙サイズ

本機では以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ ミリ（mm）	用紙サイズ インチ（in.）	給紙トレイ *	両面	コピー	印刷	カメラダイレクト印刷
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2	○	○	○	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1	×	○	○	○
B5	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1	×	○	○	○
Executive	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5	1	×	○	○	×
F4	210.0 × 330.0	8.3 × 13.0	1	×	○	○	×
Foolscap	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	1	×	×	○	×
Kai16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	1	×	×	○	×
Kai32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	1	×	×	○	×
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1	×	○	○	×
G リーガル	216.0 × 330.0	8.5 × 13.0	1	×	×	○	×
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2	○	○	○	○
レタープラス	215.9 × 322.3	8.5 × 12.69	1	×	×	○	×
G レター	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1	×	○	○	×
Statement	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5	1	×	○	○	×
UK Quarto	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	1	×	×	○	×
フリーサイズ（最小値）	92.0 × 198.0	3.6 × 7.8	1	×	×	○	×
フリーサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1	×	×	○	×
官製ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1	×	○	○	○
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1	×	○	○	×
C5	162.0 × 229.0	6.4 × 9.0	1	×	○	○	×
C6	114.0 × 162.0	4.5 × 6.4	1	×	○	○	×
Com10	104.7 × 241.3	4.125 × 9.5	1	×	○	○	×
DL	110.0 × 220.0	4.3 × 8.7	1	×	○	○	×
Monarch	98.4 × 190.5	3.875 × 7.5	1	×	○	○	×
洋形 0 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×	○	○	×
洋形 6 号	98.0 × 190.0	3.9 × 7.5	1	×	○	○	×
洋形 4 号	105.0 × 235.0	4.1 × 9.3	1	×	○	○	×
厚紙は A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズのみに対応しています。							
備考： * トレイ 1 は汎用 トレイ 2 は普通紙（再生紙）専用							

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本機で利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙（再生紙）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙（再生紙）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、本機の故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

■ 表面加工されている用紙（カーボン紙、カラー加工された紙など）

■ カーボン紙

■ 感熱紙、熱転写用紙

■ 水転写用紙

■ 感圧紙

■ インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）

■ 一度印刷に使用した用紙
• インクジェットプリンタで印刷された用紙
• モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
• 熱転写プリンタで印刷された用紙
• 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

■ 湿気のある用紙
湿度が 35% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。

■ 重なっている用紙

■ 粘着性のある用紙

■ 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙

■ 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙

■ なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの

■ 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙

■ 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙

■ 静電気がたまっている用紙

■ アルミ箔や金箔、光っているもの

■ 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙

■ 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙

■ のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの

■ 酸性のもの

■ その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	カード用紙	
坪量	91 ～ 163 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ トレイ 1 の中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

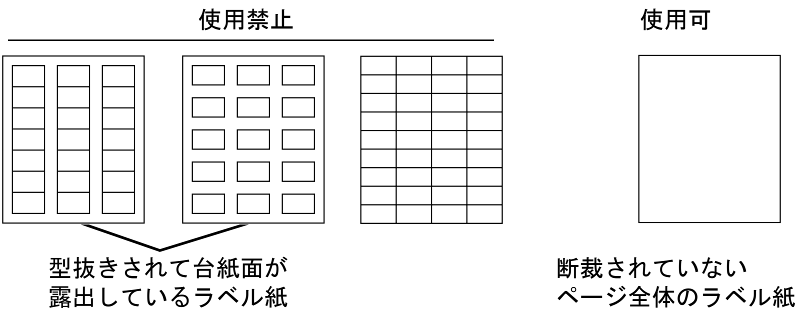
以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙



レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。	

はがき

はがきには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	官製ハガキ	
両面印刷	対応していません。	

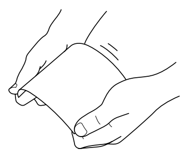
以下のはがきを使用してください。

- 官製はがき（100 × 148 mm）
  （市販のはがきには、使用できないものがあります。）

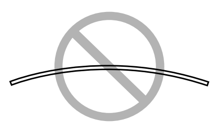
以下のようなはがきは使用しないでください。

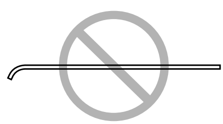
- 光沢のあるもの
- 曲がっているもの
- インクジェットプリンタ用はがき
- 切り込みやミシン目のあるはがき
- すでに印刷されているもの、色加工されているもの
  （はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

  はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



- 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの





OHP フィルム

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.123）をごらんください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムにも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません。	

OHP フィルムを使用する場合、初めに少ない枚数で試し印刷を行い、問題が起こらないことを確認してください。

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

光沢紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

<table>
<tr><td rowspan="2">容量</td><td>トレイ 1</td><td>50 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>対応していません。</td></tr>
<tr><td>プリンタドライバでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">コート紙</td></tr>
<tr><td>両面印刷</td><td colspan="2">対応していません。</td></tr>
</table>

以下のような使いかたはしないでください。

■ トレイ 1 の中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

以下のような光沢紙は使用しないでください。

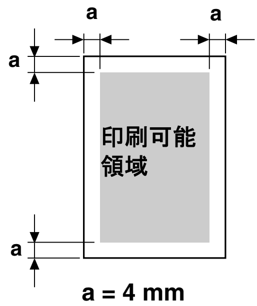
■ インクジェットプリンタ用のもの

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の上下左右から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。



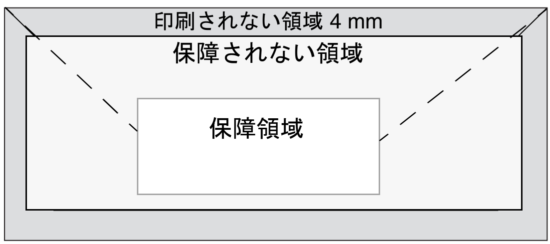
リーガル印刷時には、用紙下の印刷可能領域が 17 mm になります。

光沢紙印刷時には、用紙上の印刷可能領域が 10 mm になります。

封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



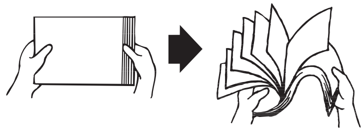
ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。



OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本機は、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したり本機の寿命が短くなる場合があります。

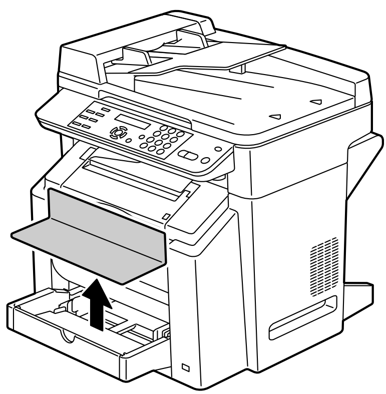
用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（手差しトレイ）

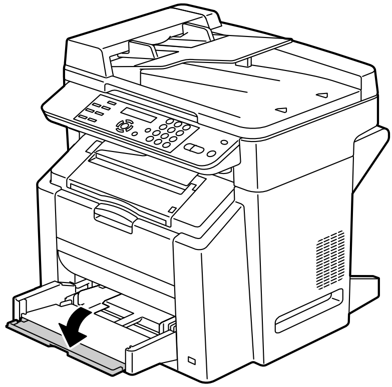
トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。

普通紙の場合

1 ダストカバーのふたを取り外します。

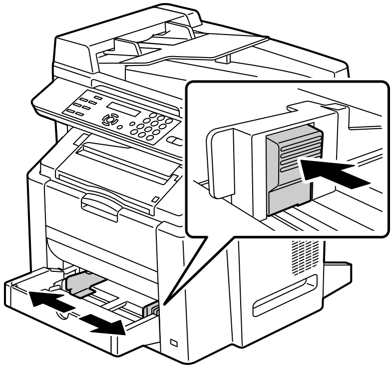


トレイ 1 に大きいサイズの用紙をセットする場合は、トレイ 1 前面のパネルを開きます。

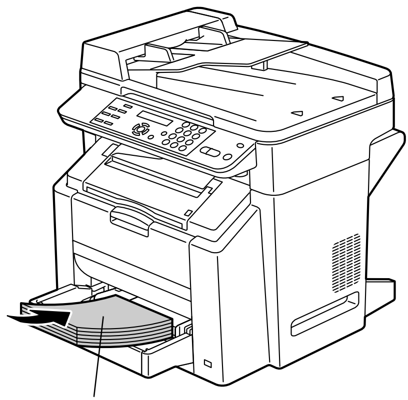


2 用紙ガイドを広げます。

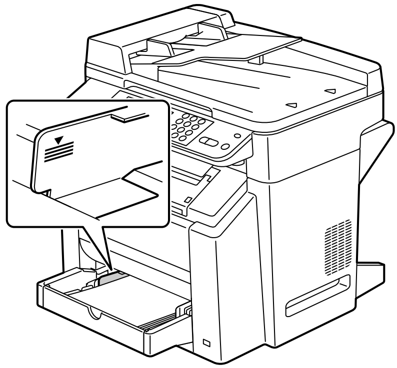
用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。



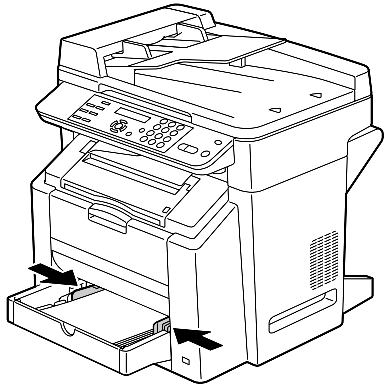
3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



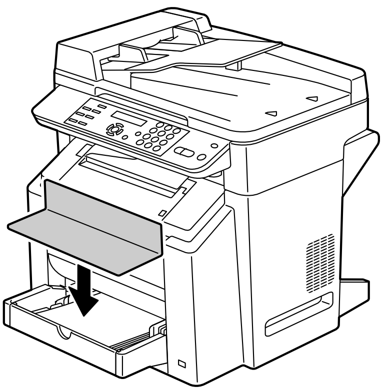
用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。
普通紙は 1 度に 200 枚（80 g/m²）までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



5 ダストカバーのふたを取り付けます。

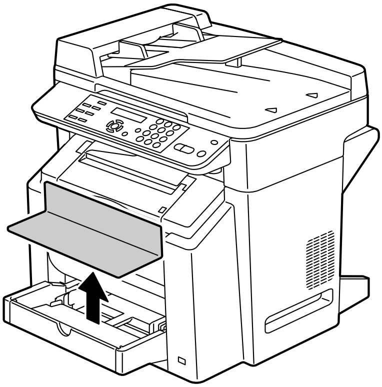


その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒、OHP フィルムなど）

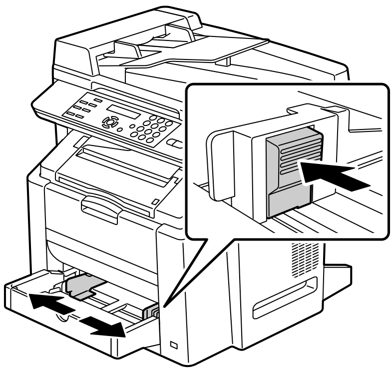
封筒の場合

1 ダストカバーのふたを取り外します。

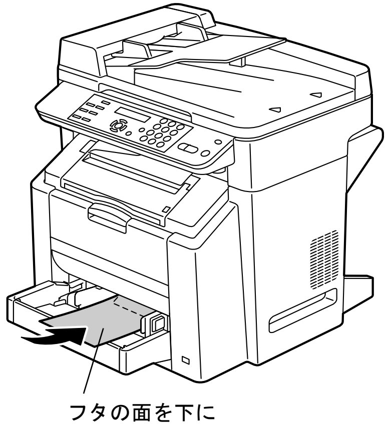


2 用紙ガイドを広げます。

用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。



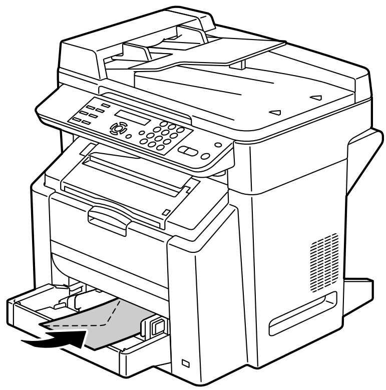
3 フタの面を下にして用紙をセットします。



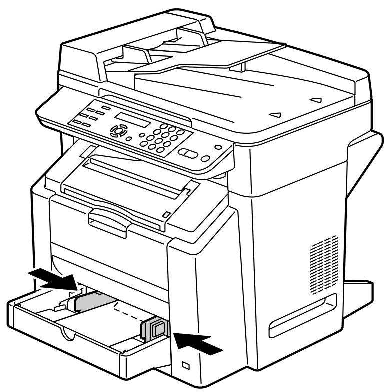
セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわができたり、紙づまりの原因になります。

封筒は 1 度に 10 枚までセットできます。

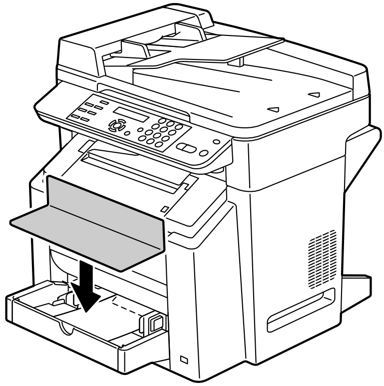
封筒のフタが長辺にある場合は、フタを左側にしてセットしてください。



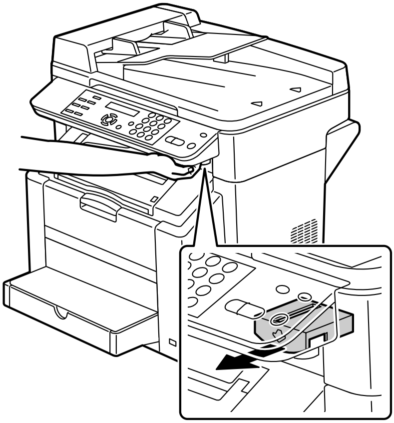
4 封筒のサイズに用紙ガイドを合わせます。



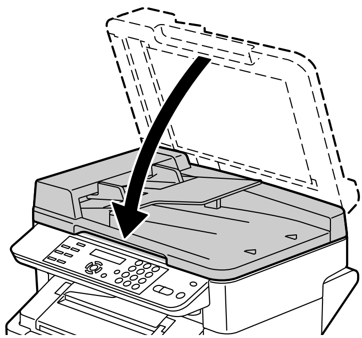
5 ダストカバーのふたを取り付けます。



6 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。



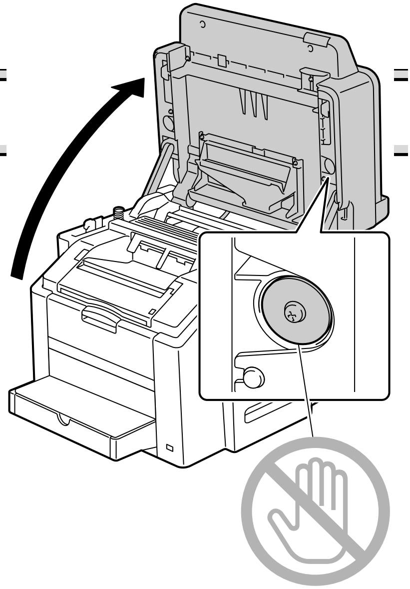
スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。



7 スキャナユニットを開きます。

ご注意

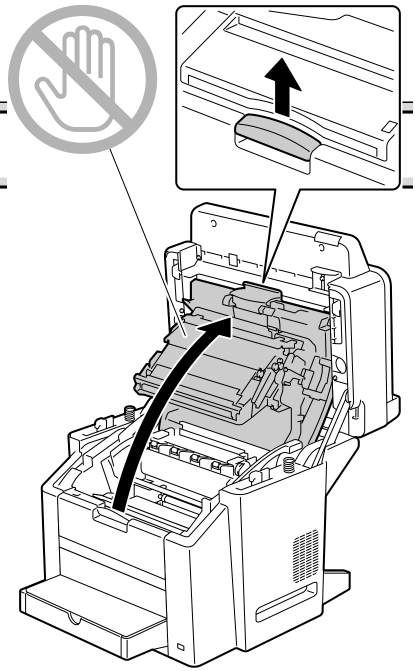
スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。



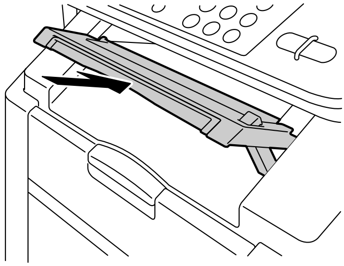
8 レバーを引いてトップカバーを開きます。

ご注意

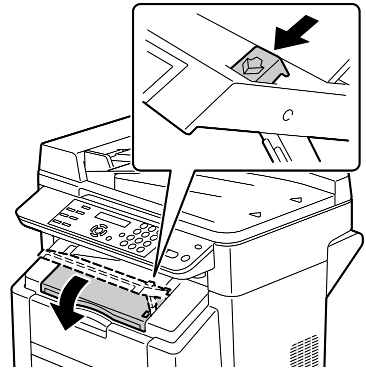
転写ベルトに手を触れないでください。



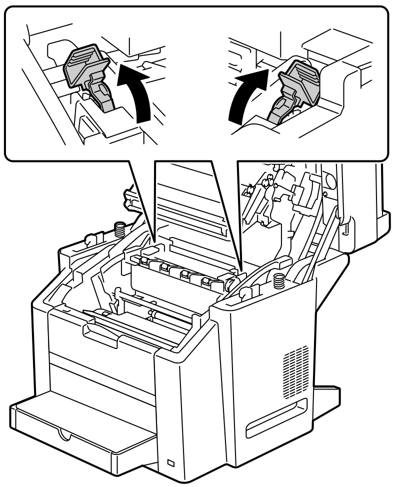
排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。



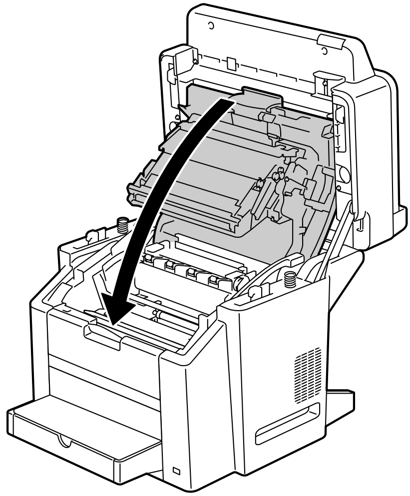
トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。
トレイが上向きの角度にセットされている場合は、排紙トレイの右側にあるボタンを押して折りたたみます。



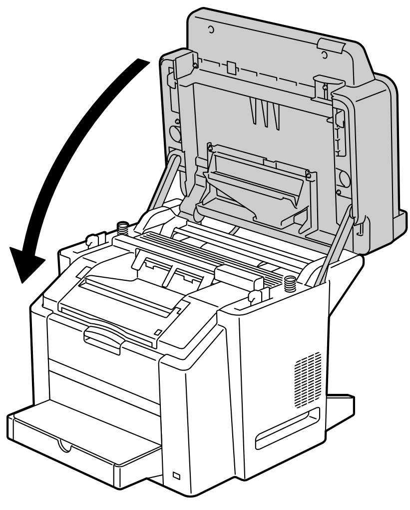
9 左右にある定着ユニット解除レバーを奥に倒します。



10 トップカバーを閉じます。



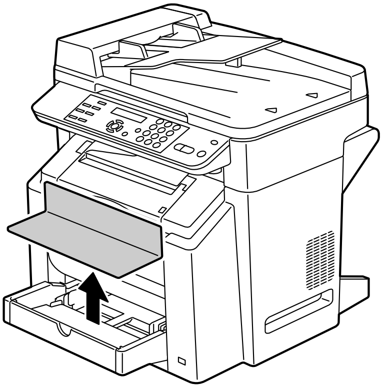
11 スキャナユニットを閉じます。



封筒以外の用紙に印刷する場合は、左右にある定着ユニット解除レバーを必ず元の位置に戻してからプリントしてください。

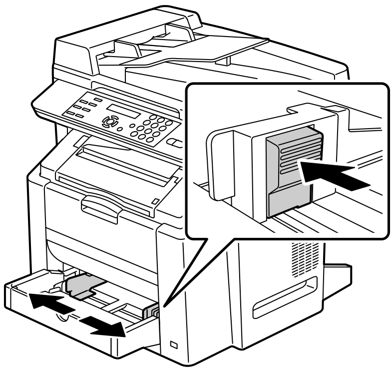
ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

1 ダストカバーのふたを取り外します。



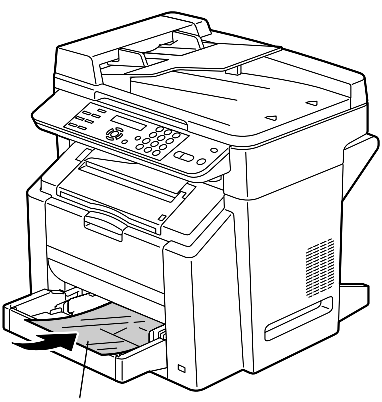
2 用紙ガイドを広げます。

用紙ガイドの幅を変更する場合は、ガイド右側のボタンを押しながら動かしてください。

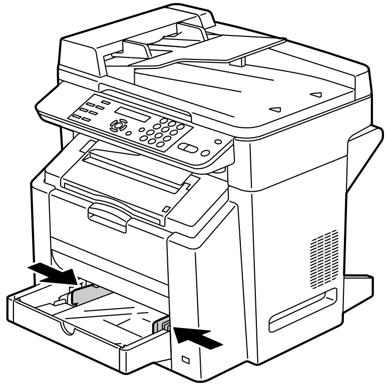


3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

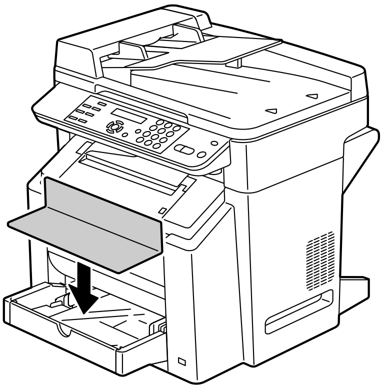
用紙は 1 度に 50 枚までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



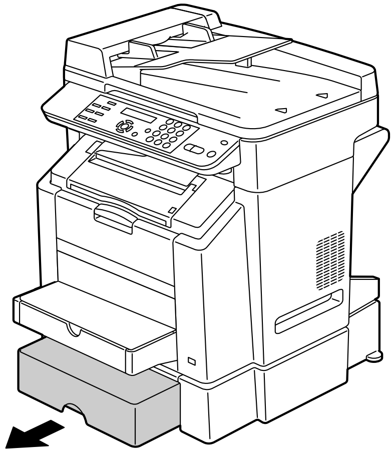
5 ダストカバーのふたを取り付けます。



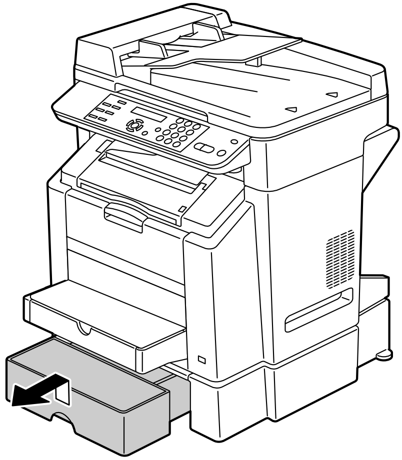
トレイ 2

普通紙の場合

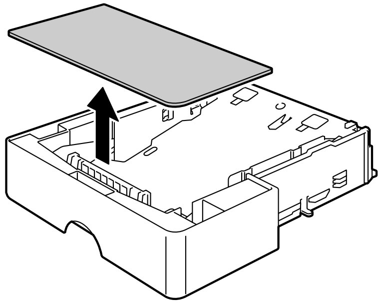
1 トレイ 2 を引き出します。



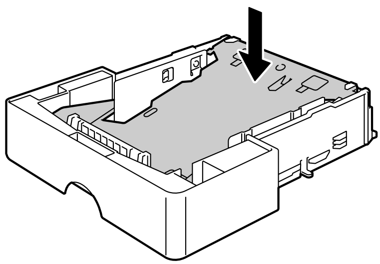
2 トレイ 2 を軽く持ち上げながら、完全に引き抜きます。



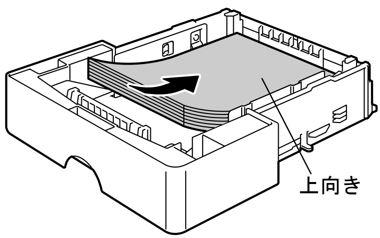
3 トレイ２のカバーを取り外します。



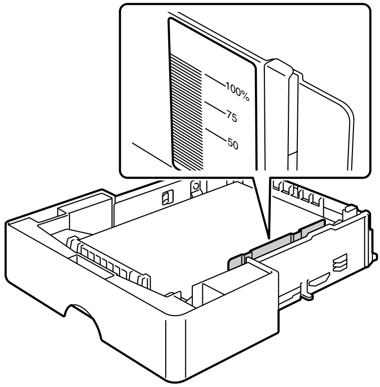
4 トレイ内部の金属板を、戻らなくなる位置まで押し下げます。



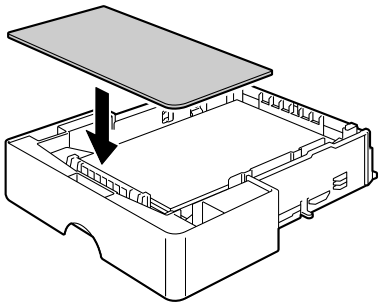
5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



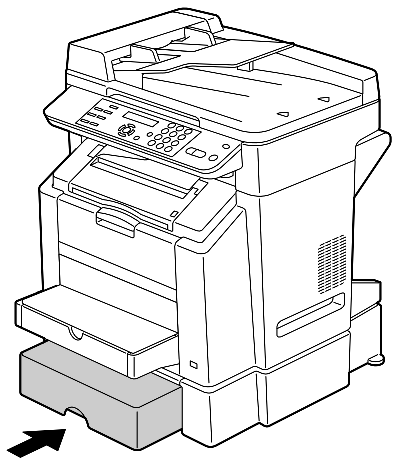
用紙は 100% の線を超えないようにセットしてください。普通紙は 1 度に 500 枚（80 g/m²）までセットできます。



6 トレイ 2 のカバーを取り付けます。



7 トレイ 2 を本機にセットします。



両面印刷

両面印刷には自動両面ユニット（オプション）が必要です。取り付け方法は「自動両面ユニットの取り付け」（p.185）をごらんください。
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙とレターヘッドにのみ対応しています。
「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。

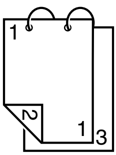
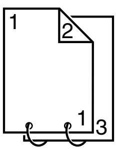
厚紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、光沢紙、および OHP フィルムでは、両面印刷できません。

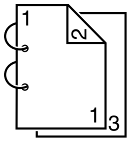
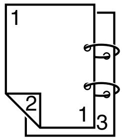
自動両面印刷の方法は？

自動両面ユニットが本機に装着されている状態で、両面印刷を行います。

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

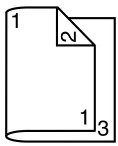
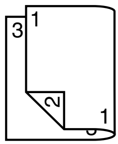
両面印刷の設定には以下の種類があります。

	「短辺とじ（上）」に設定すると、上にめくるレイアウトになります。
	「短辺とじ（下）」に設定すると、下にめくるレイアウトになります。

	「長辺とじ（左)」に設定すると、左にめくるレイアウトになります。
	「長辺とじ（右)」に設定すると、右にめくるレイアウトになります。

また、「ページ割付」の「小冊子」を選択した場合も自動的に両面印刷になります。

「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	「左開き」に設定すると、左にめくるようにレイアウトされます。
	「右開き」に設定すると、右にめくるようにレイアウトされます。

1 トレイ 1 に普通紙をセットします。

2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

原稿について

原稿ガラスにセットできる原稿

原稿ガラスにセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類	単票用紙 / 本など
最大原稿サイズ	リーガル
最大積載量	3 kg

原稿ガラスに原稿をセットする場合、以下の点にご注意ください。

■ 質量が 3 kg を超えるものを原稿ガラスに乗せないでください。ガラスが破損する原因となります。

■ 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。ガラスが破損する原因となります。

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類 / 坪量	普通紙：60 ～ 90 g/m^2
最大原稿サイズ	リーガル
最大積載量	50 枚

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

■ 用紙サイズが不揃いの原稿

■ しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿

■ OHP フィルム、第 2 原図などの透明度の高い原稿

■ カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿

■ 135 g/m^2 以上の厚手の原稿

■ クリップ、ステープルなどでとじられた原稿

■ 本など製本されている原稿

■ のりなどで貼り合わせてある原稿

■ 切取りや切抜きのある原稿

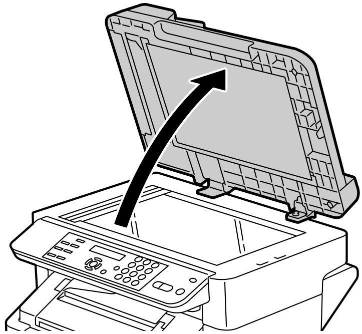
■ ラベル用紙

- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿

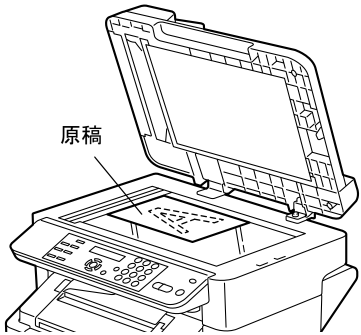
原稿をセットする

原稿ガラス上に原稿をセットする

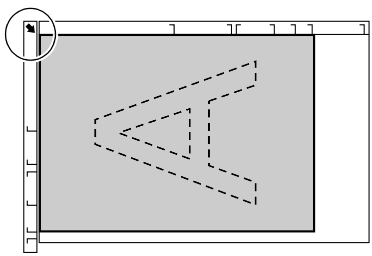
1 ADF を開きます。



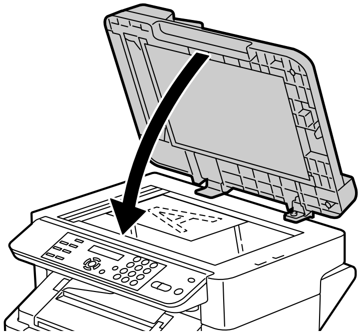
2 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。



原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。また、原稿の端は原稿ガラスの左奥に合わせてください。

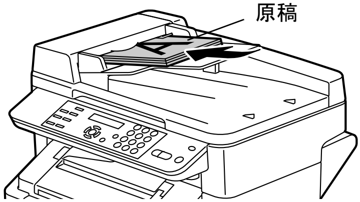


3 ADF を閉じます。



ADF 上に原稿をセットする

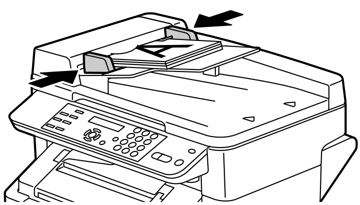
1 原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。



原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。

ADF に原稿をセットする時は、必ず原稿ガラスに残っている原稿を取り除いてください。

2 ガイド板を原稿に沿わせます。



セットした原稿をコピーする手順については「コピー機能を使う」（p.91）、スキャンする手順については「スキャン機能を 使う」（p.99）をごらんください。

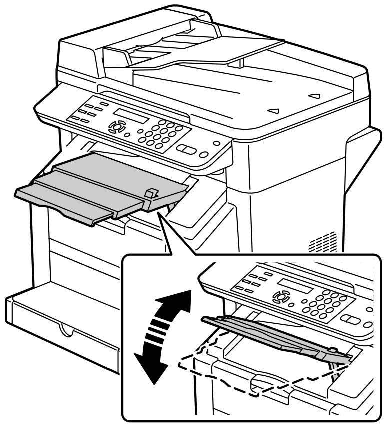
排紙トレイ

どの用紙も本機前部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 100 枚までです。

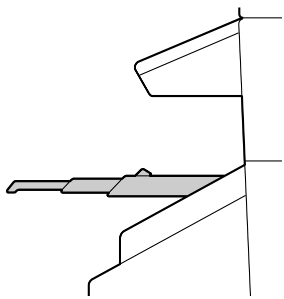
排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

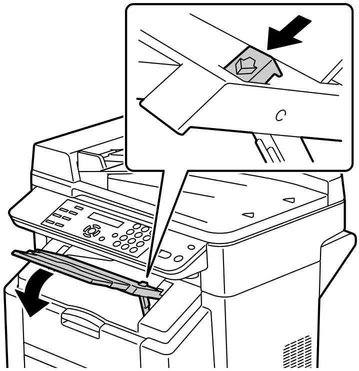
排紙トレイは、図のように 2 種類の角度に調整できます。



はがきに印刷する場合は、必ず排紙トレイを水平位置にセットしてからプリントしてください。

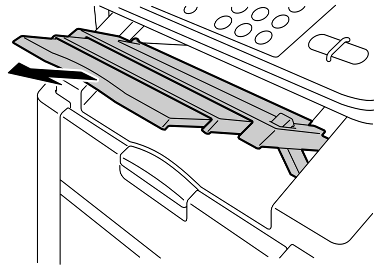


トレイを水平位置にセットするには、排紙トレイの右側にあるボタンを押します。



排紙トレイを引き出し、長さを 2 段階に延長することができます。

印刷する用紙サイズに合わせた位置で使用してください。



用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

6 コピー機能を使う

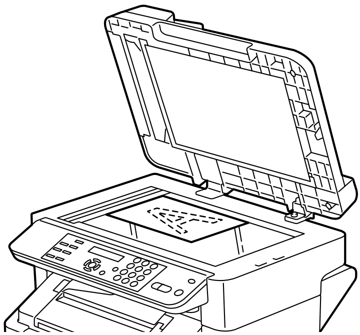
基本コピー

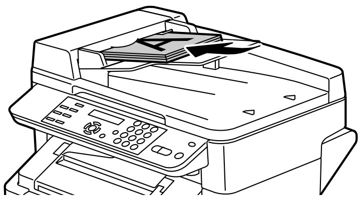
この章では、基本的なコピーの手順と、コピーの倍率や明るさなどの設定方法について説明します。

コピーの基本操作

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

原稿のセットの仕方については、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.85）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.86）をごらんください。





2 必要に応じて各機能の設定をします。

倍率の設定については、「倍率の設定」（p.93）をごらんください。
濃度の設定については、「コピーの濃度を設定する」（p.93）をごらんください。
用紙トレイの設定については、「用紙トレイを選択する」（p.94）をごらんください。
2in1 コピーの設定については、「2in1 コピーの設定」（p.95）をごらんください。
両面コピーの設定については、「両面コピーの設定」（p.95）をごらんください。
部単位でのコピー（ソート）の設定については、「部単位でのコピー（ソート）の設定」（p.96）をごらんください。

3 テンキーでコピー部数を入力します。

コピー部数を誤って入力してしまった場合は、キャンセル /C キーを押してから、正しいコピー部数を入力し直してください。

4 カラーコピーをとる場合は、スタート / カラーキーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、スタート / モノクロキーを押します。

> コピーを中断したい場合は、ストップ / リセットキーを押してください。
> このとき、メッセージウィンドウには * ｺﾋﾟｰｶﾞｷｬﾝｾﾙｻﾚﾏｼﾀ * と表示されます。

倍率の設定

コピーの倍率を設定する場合には、あらかじめ設定されたプリセット倍率から選択するか、カスタム設定で倍率を指定します。

プリセット倍率を選択する

1 メッセージウィンドウに目的の倍率が表示されるまで、拡大／縮小キーを何回か押します。

> 拡大 / 縮小キーを押すごとに、倍率の設定は以下の順序で切り替わります。

> 「ｼｮｷ ﾕｰｻﾞｰ ﾃﾞｰﾀ / ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ」を「ﾒﾄﾘｯｸ」に設定している場合 : 1.15 → 1.41 → 2.00 → 0.50 → 0.70 → 0.81
> 「ｼｮｷ ﾕｰｻﾞｰ ﾃﾞｰﾀ / ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ」を「ｲﾝﾁ」に設定している場合 : 1.29 → 1.54 → 2.00 → 0.50 → 0.64 → 0.78

> 選択したプリセット倍率によっては、その倍率で行える用紙サイズの変換（「B5 → A4」など）が、メッセージウィンドウ右下隅のステータスエリアに表示されます。この表示は 5 秒後に自動的に消えます。

カスタム倍率を選択する

1 メッセージウィンドウに目的の倍率が表示されるまで、＋ / －キーを押します。

> ＋キーを押すと拡大側、－キーを押すと縮小側に、× 0.01 単位で倍率を変更できます。
> 設定可能な倍率の範囲は 0.50 ～ 2.00 です。

コピーの濃度を設定する

1 目的の濃度になるまで、◖、◗ キーを押します。

> 操作パネルの明るさキーを押しても、コピーの濃度を設定することができます。



←薄い　濃い→

用紙トレイを選択する

1 機能キーを 2 回押します。
メッセージウィンドウが、用紙トレイ選択状態になります。

2 ◀、▶ キーを押して用紙トレイを選択し、メニュー / 選択キーを押します。

「ﾄﾚｲ 2」はオプションのトレイ 2 を装着している場合に表示されます。

3 キャンセル /C キーを押します。
メッセージウィンドウが、メイン画面表示に戻ります。

応用コピー

この章では、2in1 コピー、両面コピー、部単位でのコピー（ソート）について説明します。

2in1 コピー、両面コピー、部単位でのコピー（ソート）の 2 つ以上を同時に行うことはできません。

2in1 コピーの設定

2in1 コピーは、2 枚の原稿を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

2in1 コピーを行う場合、原稿を ADF にセットする必要があります。

2in1 は、ソートと組み合わせてコピーすることができません。

1 **2in1** キーを押します。
コピーの倍率が 0.69 に設定され、メッセージウィンドウに が表示されます。

コピーの倍率は、この後で変更できます。

両面コピーの設定

両面コピーは、2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。

両面コピーはオプションの自動両面ユニットを装着している場合に実行できます。

1 機能キーを 3 回押します。
メッセージウィンドウが、両面コピー設定状態になります。

この画面は、オプションの自動両面ユニットを装着している場合に表示されます。

2 ◀、▶ キーを押して「ｵﾝ」を選択し、メニュー / 選択キーを押します。

3 キャンセル /C キーを押します。

メッセージウィンドウに が表示され、メイン画面表示に戻ります。

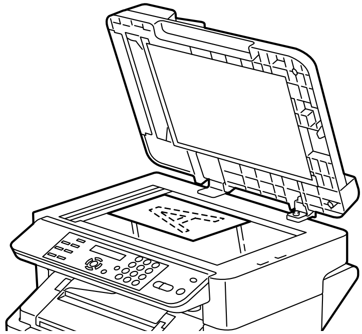
フルカラーの両面コピーをとる場合には、原稿のスキャンが終わってから、印刷が開始されるまで 30 ～ 50 秒がかかります。

原稿ガラスを使用した両面コピー

原稿ガラスに原稿をセットして、両面コピーを行うこともできます。

1 原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。

原稿のセットの仕方については、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.85）をごらんください。



2 機能キーを押し、両面コピーの設定をします。

3 カラーコピーをとる場合は、スタート / カラーキーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、スタート / モノクロキーを押します。
原稿のスキャンが開始されます。

4 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ」と表示されたら、原稿ガラスに次の原稿をセットして、メニュー／選択キーを押します。
2 枚目のページ（裏面）のスキャンが完了すると、印刷が自動的に開始されます。

5 両面印刷が完了すると、メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ」と表示されます。
原稿に次のページがある場合には、手順 4 の操作を繰り返し、原稿をスキャンします。

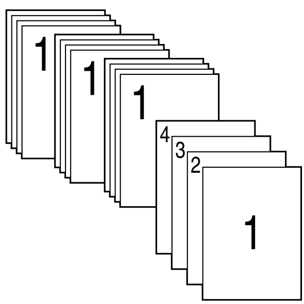
6 原稿の全ページのスキャンが完了したら、スタート / カラーキーまたはスタート / モノクロキーを押します。
最終ページの印刷が完了すると、メッセージウィンドウがメイン画面表示に戻ります。

部単位でのコピー（ソート）の設定

ソートを選択すると、複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 部ずつページ順に揃えて印刷することができます。

ソートを行う場合、原稿を ADF にセットする必要があります。

ソートは、2in1 と組み合わせてコピーすることができません。



1 ソートキーを押します。
メッセージウィンドウに が表示されます。

「ｺﾋﾟｰ ﾉ ｾｯﾃｲ / ｼｱｹﾞﾉﾕｳｾﾝｼﾞｭﾝｲ」が「ｿｰﾄ」に設定されている場合は、ソートキーを押さないでください。

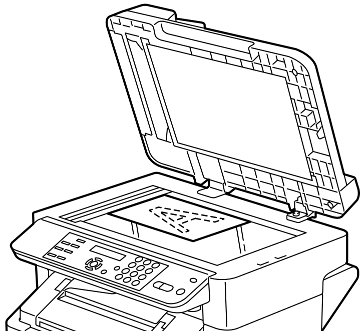
7 スキャン機能を使う

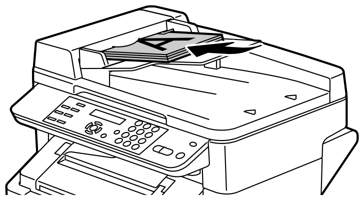
基本スキャン

スキャンデータをコンピュータに取り込む

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

> 原稿のセットの仕方については、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.85）および「ADF 上に原稿をセットする」（p.86）をごらんください。





2 スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動します。

3 アプリケーションから、スキャナドライバを起動します。

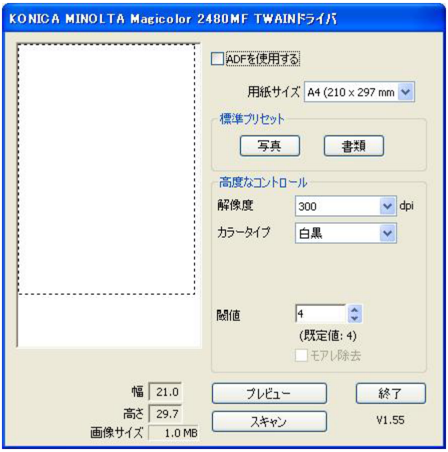
> アプリケーションからスキャン画像を読み込む場合、TWAIN ドライバは「KONICA MINOLTA magicolor 2480MF T」、WIA ドライバは「WIA-KONICA MINOLTA magicolor 2480」と表示されます。

> Adobe Acrobat 5.0.5 より ADF に原稿をセットしてスキャンする場合、Application CD-ROM に収録される PaperPort ソフトウェアをご使用ください。

4 必要に応じてスキャナドライバの設定をします。

5 スキャナドライバの［スキャン］をクリックします。

TWAIN ドライバの設定



プレビューウィンドウ

スキャンのプレビューを表示します。

幅 / 高さ / 画像サイズ

スキャンする範囲の幅と高さ、スキャン画像のデータサイズを表示します。

ADF を使用する

ADF を使用してスキャンする場合にチェックします。

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

標準プリセット

写真：解像度を 300dpi、カラータイプをカラーに設定します。
書類：解像度を 150dpi、カラータイプを白黒に設定します。

高度なコントロール

解像度、カラータイプ、コントラスト、明るさ、閾値などを設定します。

設定可能な項目は、選択したカラータイプによって異なります。

モアレ除去をチェックすると、150dpi 以下でスキャンした場合に生じるモアレ効果を取り除くことができます。

プレビュー

プレビューウィンドウにプレビューを表示します。

スキャン

スキャンを開始します。

終了

TWAIN ドライバウィンドウを閉じます。

WIA ドライバの設定



カラー画像

カラーでスキャンする場合に選択します。

グレースケール画像

グレースケールでスキャンする場合に選択します。

白黒画像またはテキスト

白黒画像またはテキストをスキャンする場合に選択します。

カスタム設定

「スキャンした画像の品質の調整」を使用してスキャンする場合に選択します。

「スキャンした画像の品質の調整」を選択すると、カスタム設定が自動的に選択されます。

スキャンした画像の品質の調整

このテキストをクリックすると、詳細プロパティ画面が表示されます。

この画面では、明るさ、コントラスト、解像度、画像タイプ（カラー / グレースケール / 白黒）を設定できます。

この設定はカスタム設定を選択した場合に使用されます。



明るさ

スキャンした画像の明るさを調整します。調整可能な範囲は -60 ～ 60 です。

コントラスト

スキャンした画像のコントラストを調整します。調整可能な範囲は -35 ～ 35 です。

解像度

スキャン画像の解像度を指定します。選択可能な解像度は 600、300、200、150、100、75dpi です。

画像の種類

スキャンする画像の種類を指定します。選択可能な項目はカラー画像、グレースケール画像、白黒画像またはテキストです。

リセット

詳細プロパティ画面で設定した内容を破棄し、初期状態に戻します。

消耗品の交換

8

トナーカートリッジの交換

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本機ではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーが本機や手などにこぼれないように注意してください。

トナーを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、メッセージウィンドウの表示がクリアされません。

トナーは有害なものではありません。トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

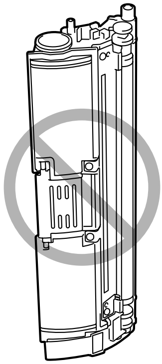
トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。トナーカートリッジ製品番号は本体内部のラベルでご確認ください。

トナーカートリッジタイプ	**トナーカートリッジ製品番号**
トナーカートリッジ - イエロー (Y)	1710588-001
トナーカートリッジ - マゼンタ (M)	1710588-002
トナーカートリッジ - シアン (C)	1710588-003
大容量トナーカートリッジ - ブラック (K)	1710588-004
大容量トナーカートリッジ - イエロー (Y)	1710588-005
大容量トナーカートリッジ - マゼンタ (M)	1710588-006
大容量トナーカートリッジ - シアン (C)	1710588-007

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下、湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。



- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

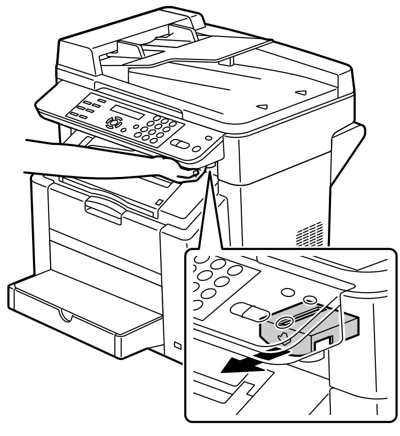
トナーがなくなると、「X ﾄﾅｰ ｴﾝﾌﾟﾃｨ」（X はトナーの色を表します）と「ｺｳｶﾝ X ﾄﾅｰ」のメッセージが交互に表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。ここではシアントナーカートリッジを例に説明します。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認します。

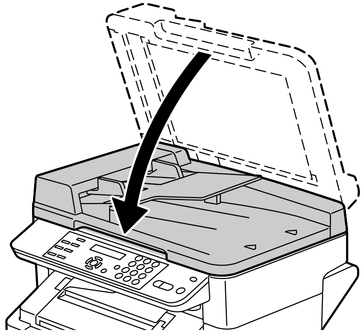
2 トナー交換キーを押します。
メッセージウィンドウに「ｺｳｶﾝ ﾓｰﾄﾞ」と「ｺｳｶﾝ C ﾄﾅｰ」が交互に表示され、シアントナーカートリッジが交換位置に移動します。

トナー交換キーを 1 回押すと、シアントナーカートリッジが交換位置に移動します。さらにトナー交換キーを押すたびに、ブラック、イエロー、マゼンタの各トナーカートリッジが交換位置に移動します。

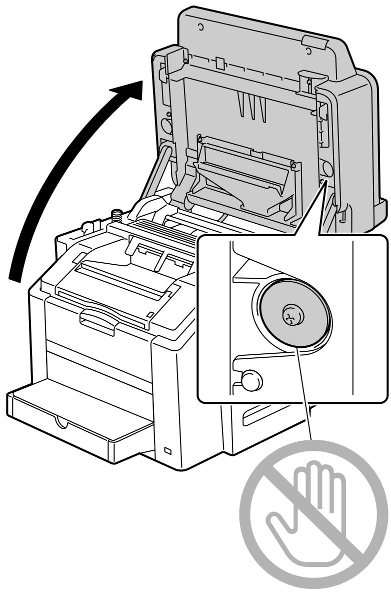
3 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。



スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。



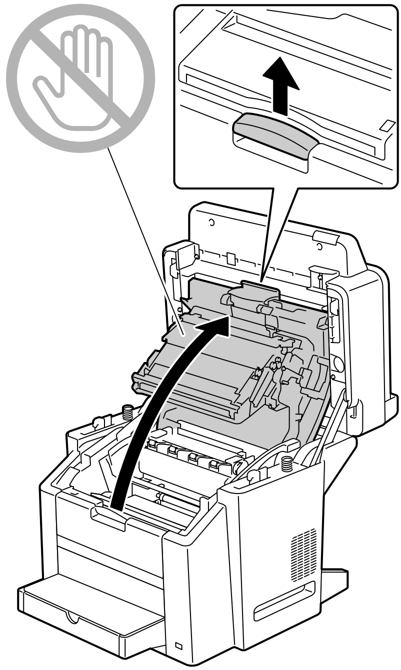
4 スキャナユニットを開きます。



ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

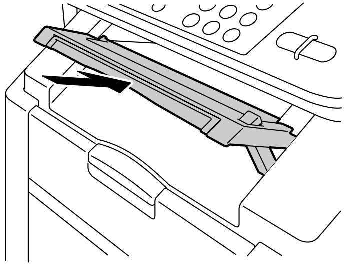
5 レバーを引いてトップカバーを開きます。



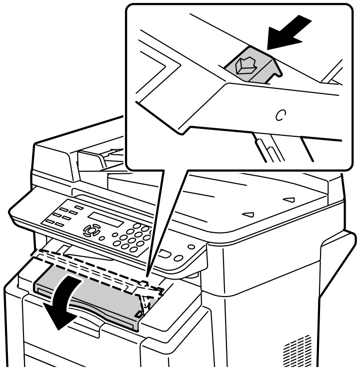
ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

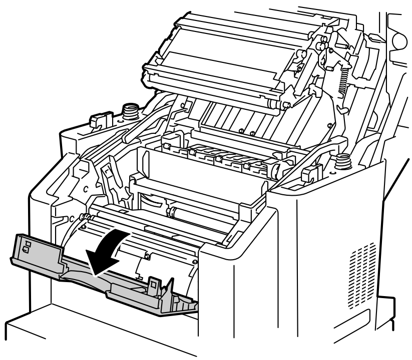


トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。
トレイが上向きにセットされている場合は、排紙トレイの右側にあるボタンを押して折りたたみます。



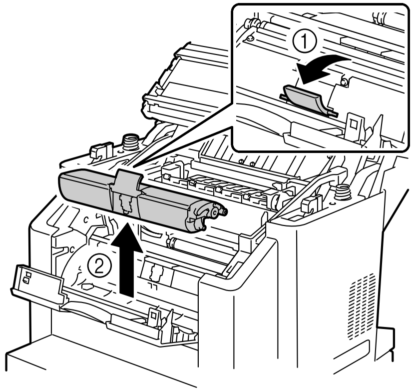
6 正面カバーを手前に開きます。

トナーカートリッジの色は、ハンドル部分の色と、ハンドルに刻印された文字（C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー、K：ブラック）で区別できます。



7 トナーカートリッジのハンドルを起こし、上へ持ち上げて取り外します。

手動でトナーカートリッジホルダーを回転させないでください。無理な力を加えると、故障の原因となります。



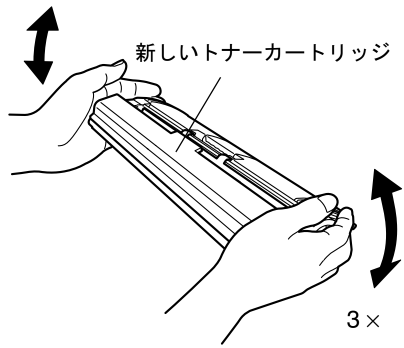
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

8 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

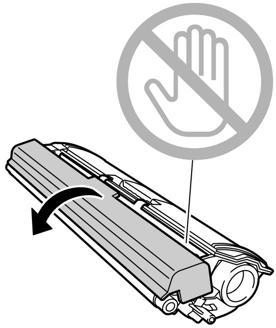
9 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

トナーカートリッジを降る前に、トナーローラーカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。



10 トナーカートリッジからトナーローラーカバーを取り外します。

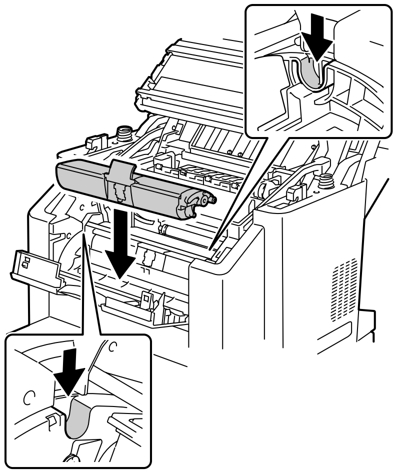
トナーローラーに手を触れたり傷を付けないでください。印刷品質低下の原因になります。



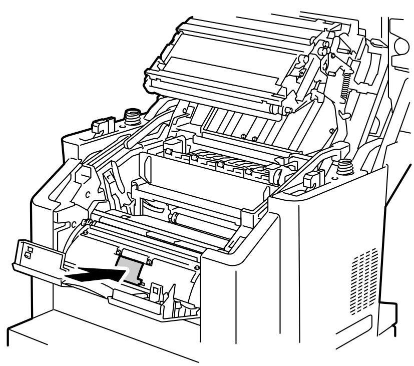
11 トナーカートリッジを、トナーカートリッジホルダーにセットします。

トナーカートリッジ両側の軸がホルダーの溝にはまるようにセットしてください。

トナーカートリッジをセットする前に、カートリッジの色とホルダーのラベルの色が合っていることを確認してください。

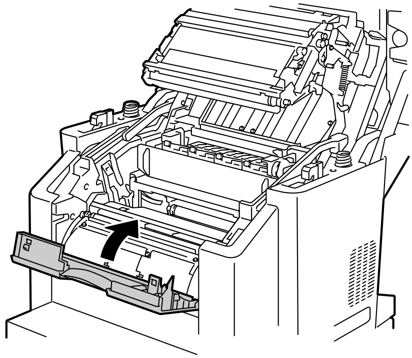


12 トナーカートリッジのハンドルを倒します。

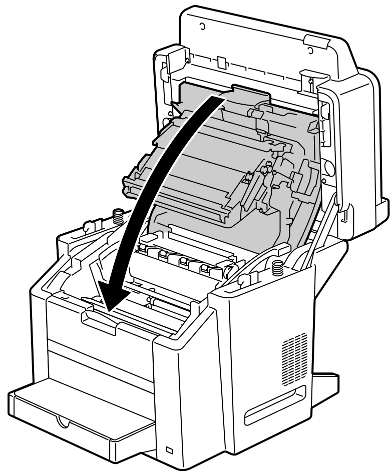


13 正面カバーを閉じます。

トップカバーを閉じる前に、必ずフロントカバーを閉じてください。

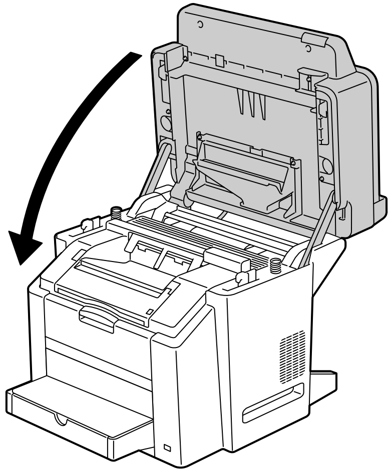


14 トップカバーを閉じます。



15 スキャナユニットを閉じます。

スキャナユニットを閉じると、ブラックトナーカートリッジが自動的に交換位置に移動します。トナー交換キーを押すたびに、他の色のトナーカートリッジが交換位置に移動します。



16 ストップ / リセットキーを押します。
メッセージウィンドウの表示がクリアされて本機がリセットされ、印刷ができる状態になります。

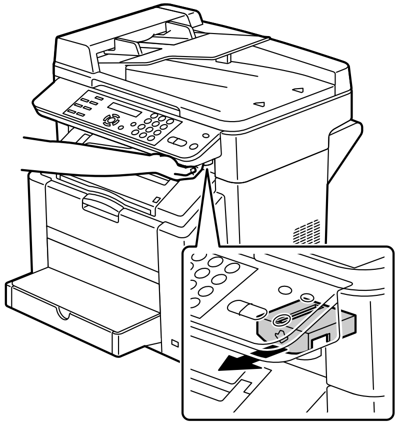
スキャナユニットを閉じてから30秒以上何も操作が行われなかった場合、本機は自動的にリセットされ、印刷ができる状態になります。

トナーカートリッジ交換後、本機はキャリブレーション（2 分間未満）を行います。キャリブレーション中に前面カバーを開けると、キャリブレーションが停止し、前面カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

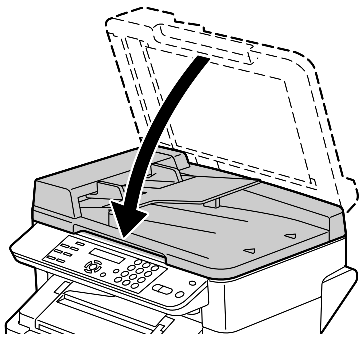
ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが寿命に達すると、メッセージウィンドウに「ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と「ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが交互に表示されます。以下の手順に従ってドラムカートリッジを交換してください。

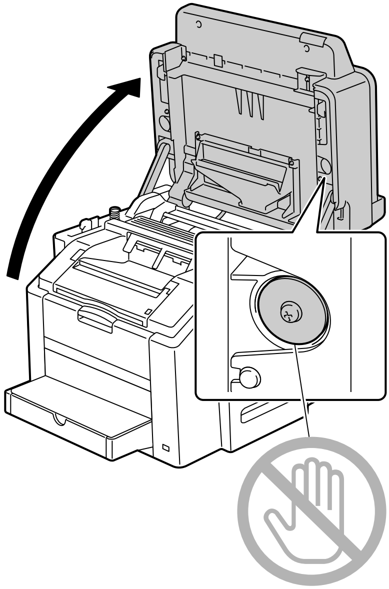
1 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。



スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。



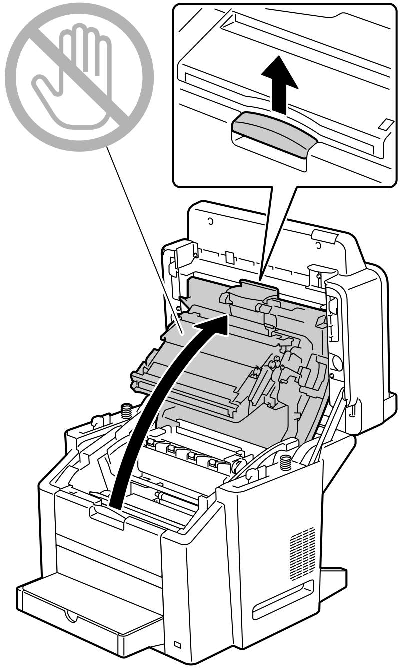
2 スキャナユニットを開きます。



ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

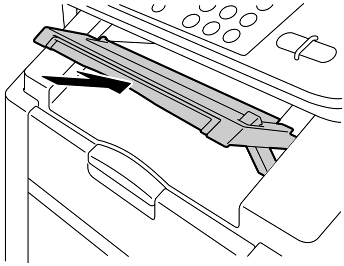
3 レバーを引いてトップカバーを開きます。



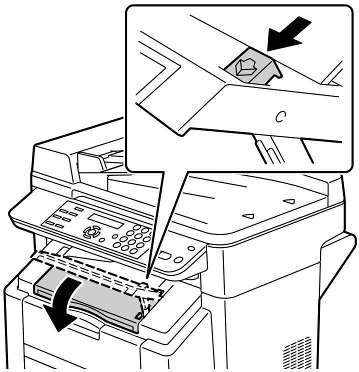
ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

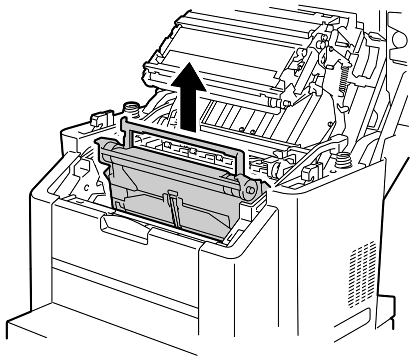


トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。
トレイが上向きにセットされている場合は、排紙トレイの右側にあるボタンを押して折りたたみます。



4 ドラムカートリッジを引き抜きます。

ドラムカートリッジは、ハンドル部分を持って引き抜いてください。



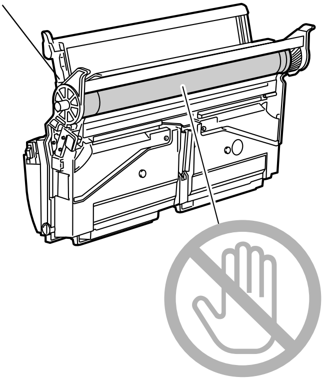
ご注意

使用済みドラムカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

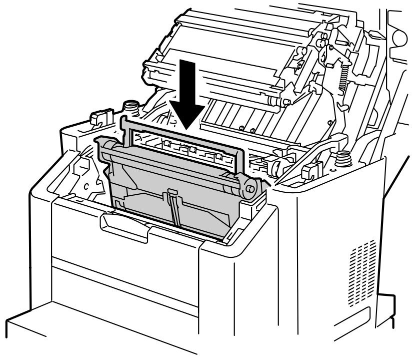
---

5 新しいドラムカートリッジを用意します。

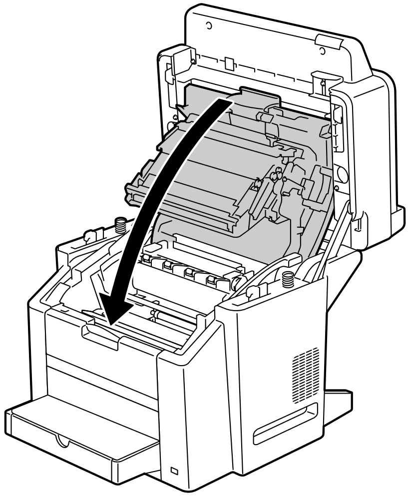
OPC ドラムに手を触れたり傷を付けないでください。印刷品質低下の原因になります。



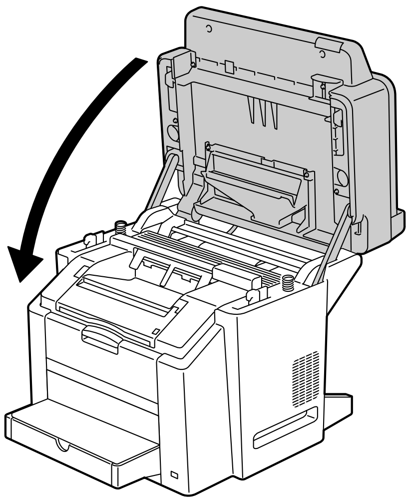
6 新しいドラムカートリッジをセットします。



7 トップカバーを閉じます。



8 スキャナユニットを閉じます。





トナーカートリッジ交換後、本機はキャリブレーション（2 分間未満）を行います。キャリブレーション中に前面カバーを開けると、キャリブレーションが停止し、前面カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

9 メンテナンス

装置のメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルは装置のドア内部や装置本体の内部にあります。

装置を長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片が装置内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的に装置の清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

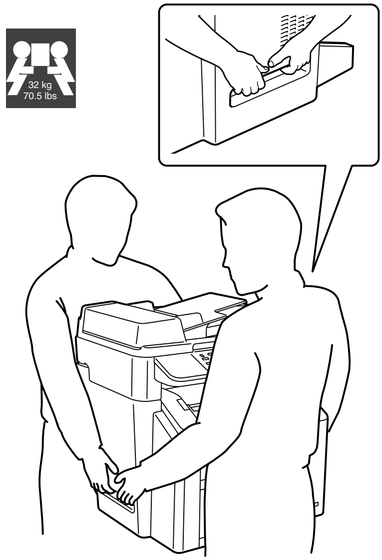
清掃前には、装置の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
装置内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。装置の損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

- 装置内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- 装置の上に物を置かないでください。
- 装置の清掃には柔らかい布を使用してください。
- 装置の表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。装置のすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- 装置の清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、装置の目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- 装置の清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- 装置のカバーはゆっくり閉めて下さい。装置に振動を与えないようにしてください。
- 装置を使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、装置の温度が下がるまで待ってください。

- 装置のドアを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってドラムカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中は装置のいずれのドアも開けないでください。
- 用紙を装置の上部にあてててそろえないでください。
- 装置に油をさしたり、分解しないでください。
- 装置を傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。装置の故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- 装置を移動するときは、必ず2人以上で持ち上げてください。トナーがこぼれないよう装置を水平にして運んでください。
- 装置を運ぶ時は、必ず図に示す位置を持って運んでください。



オプションのトレイ2が装着されている場合は、トレイ2の部分を持って運ばないでください。

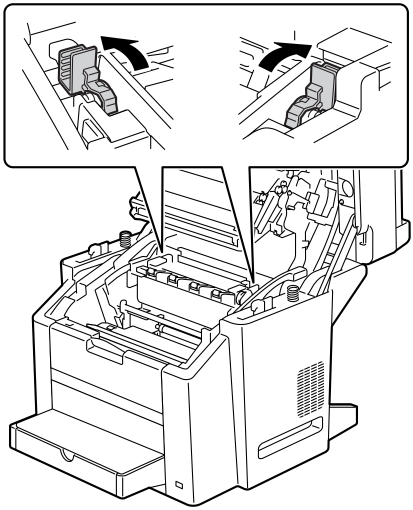
- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

- 装置の電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

■ 装置を2週間以上使用しない（電源を入れない）場合は、定着ユニット解除レバーを奥に倒してください。



装置の清掃

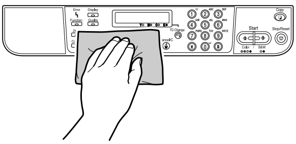
注意

清掃前には装置の電源を切り、電源ケーブルを外してください。

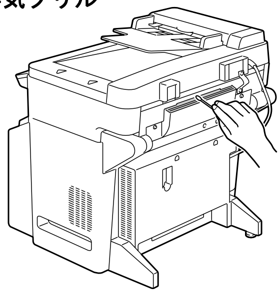
清掃は柔らかく乾いた布で行ってください。

装置外側の清掃

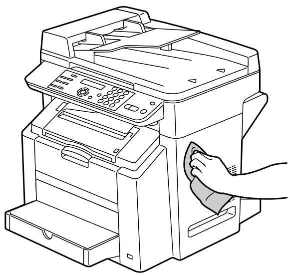
操作パネル



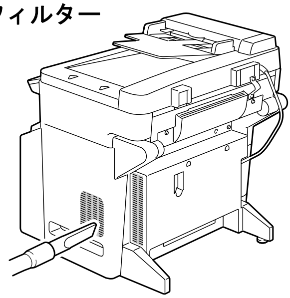
排気グリル



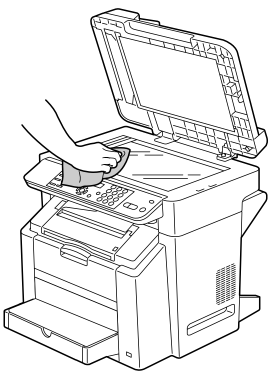
装置の外側



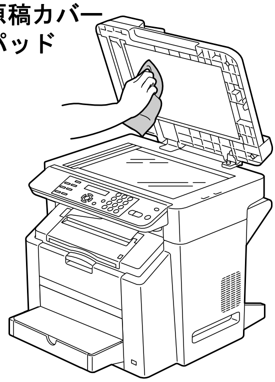
フィルター



原稿ガラス



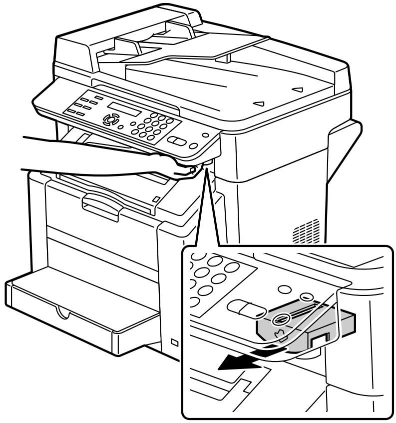
原稿カバーパッド



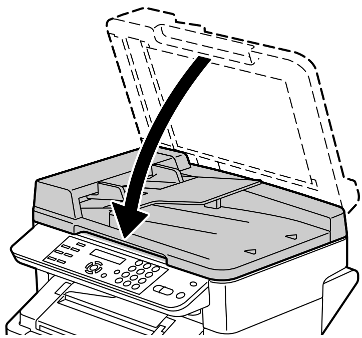
装置内部の清掃

給紙ローラーとレーザーレンズの清掃

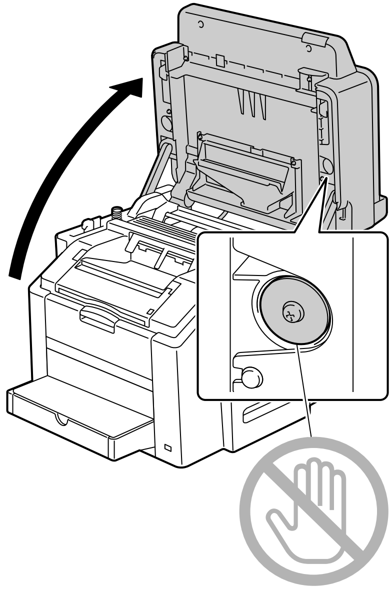
1 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。



スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。



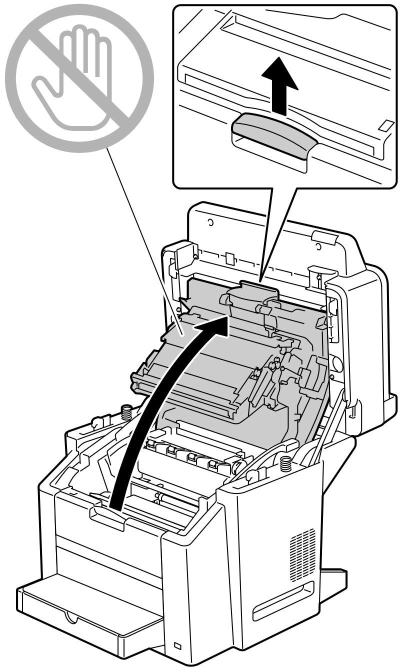
2 スキャナユニットを開きます。



ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

3 レバーを引いてトップカバーを開きます。

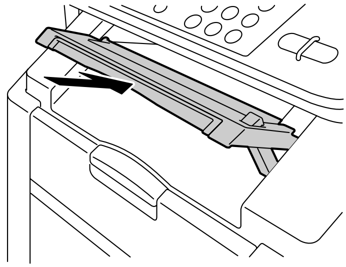


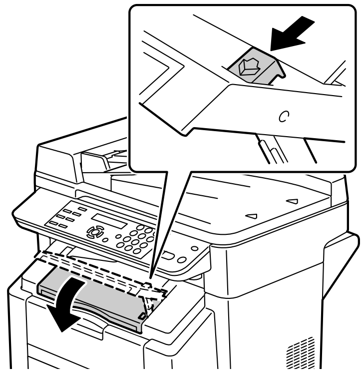
ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

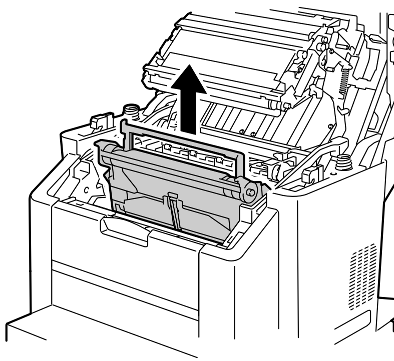
排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。



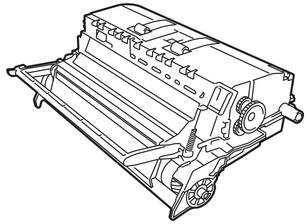


4 ドラムカートリッジを引き抜きます。

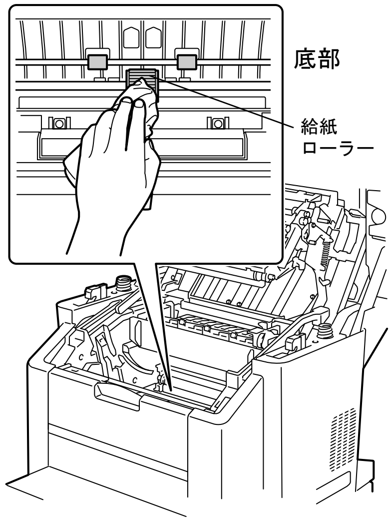


ご注意

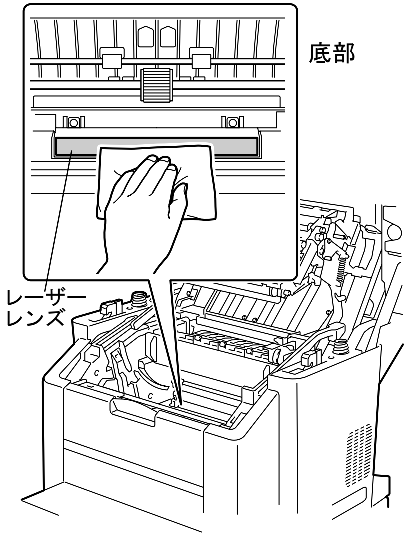
取り外したドラムカートリッジは、汚れていない場所に、右図の向きで水平に置いてください。
取り外したドラムカートリッジは、15 分以上放置しないでください。また、日光などが直接当たる場所には置かないでください。



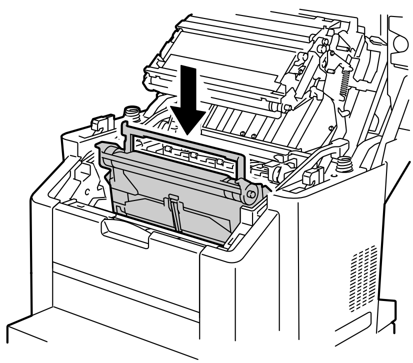
5 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。



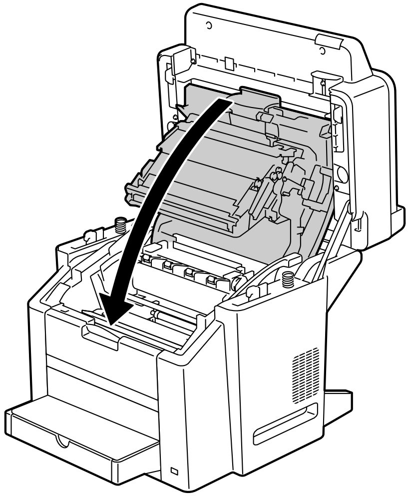
6 やわらかい乾いた布でレーザーレンズの汚れを拭き取ります。



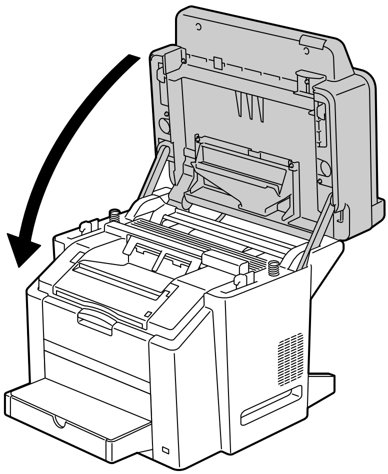
7 ドラムカートリッジをセットします。



8 トップカバーを閉じます。

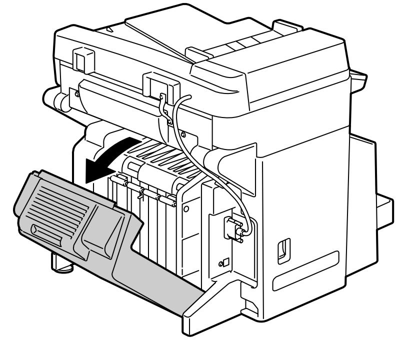


9 スキャナユニットを閉じます。

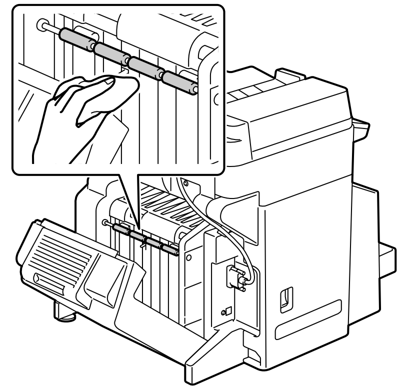


自動両面ユニットの搬送ローラーの清掃

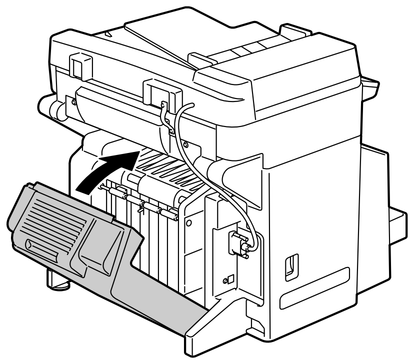
1 両面カバーを開きます。



2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。

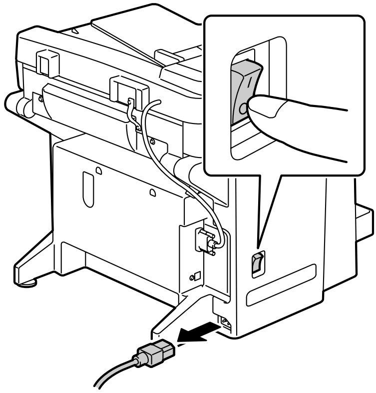


3 両面カバーを閉じます。

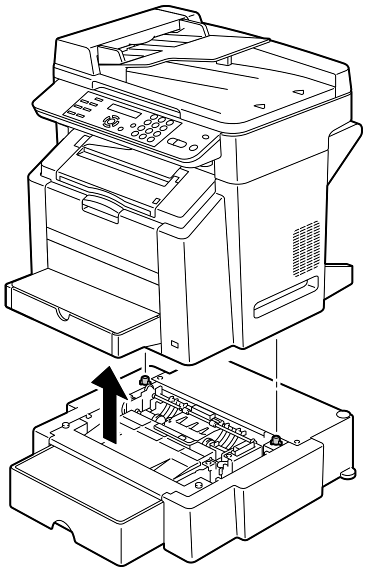


トレイ 2 の給紙ローラーの清掃

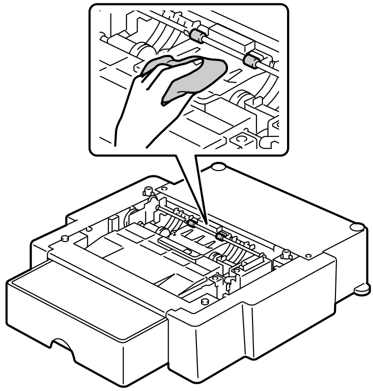
1 本機の電源を切り、電源ケーブルを取り外します。



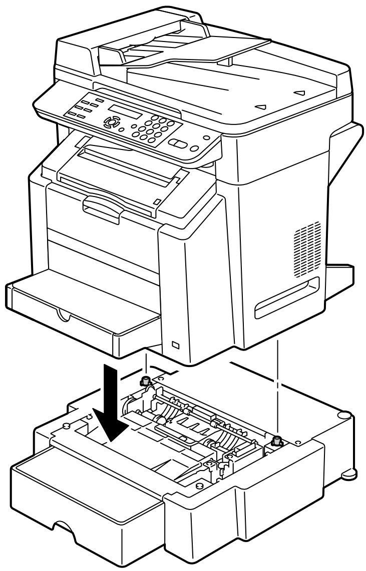
2 本体を垂直に持ち上げ、トレイ 2 を取り外します。



3 やわらかい乾いた布でトレイ 2 の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

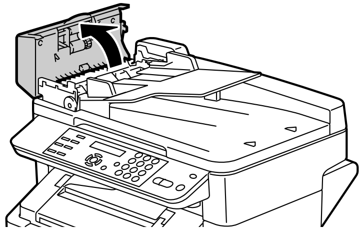


4 本体をトレイ 2 に正しくセットします。

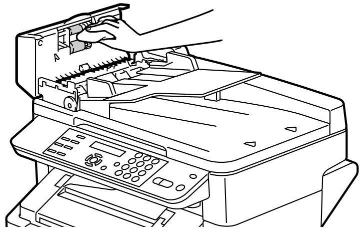


ADF の給紙ローラーの清掃

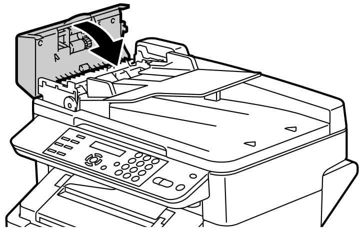
1 ADF カバーを開きます。



2 やわらかい乾いた布で、カバー裏側の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。



3 ADF カバーを閉じます。



トラブル シューティング 10

はじめに

この章では、本機使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

ステータスリスト（Status List）を印刷する

ステータスリスト（Status List）を印刷し、本機が正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ
表示切換	トナー残量画面
◗ × 2	ﾌﾟﾘﾝﾄﾚﾎﾟｰﾄ
メニュー選択	ｿｳﾁﾉｽﾃｰﾀｽ OK= ｾﾝﾀｸ
メニュー選択	ステータスリスト（Status List）が印刷され、メイン画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

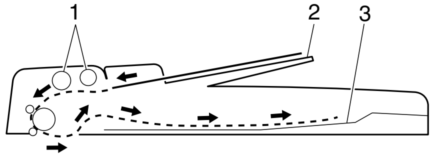
確認してください
用紙は本機の仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
本機は表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
はがきを印刷する場合、排紙トレイは水平位置になっていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、本機の破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 100 枚まで排紙できます。100 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

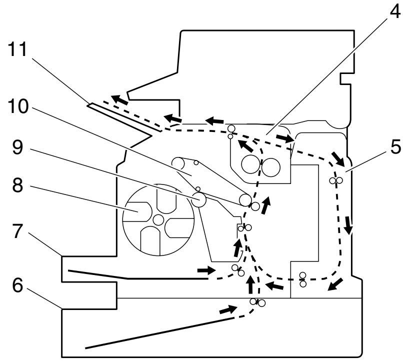
用紙送りの流れ

本機内部での用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1　ADF 給紙ローラー
2　原稿給紙トレイ
3　原稿排出トレイ
4　定着ユニット
5　自動両面ユニット
6　トレイ 2（オプション）
7　トレイ 1
8　トナーカートリッジホルダー
9　ドラムカートリッジ
10 転写ベルト
11 排紙トレイ



原稿の流れ（前面）



用紙の流れ（側面）

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片が本機内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、本機内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

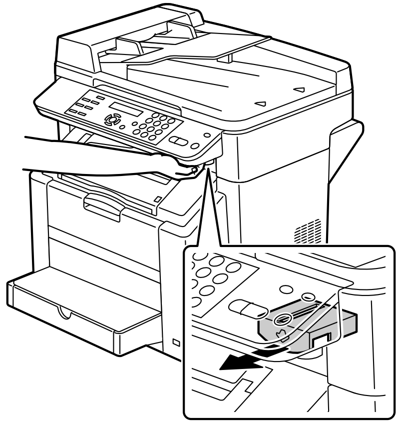
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、本機のドアの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

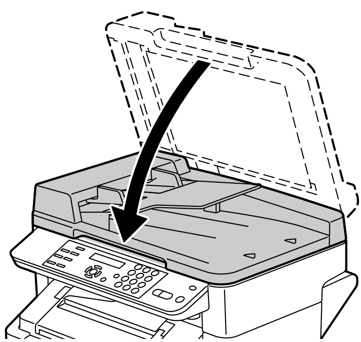
紙づまりメッセージ	参照ページ
ｷｭｳｼﾐｽ ↕（交互に表示） ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 145
ﾃｲﾁｬｸ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 145
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 145
ﾘｮｳﾒﾝ ｼﾀ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 156
ﾘｮｳﾒﾝ ｳｴ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 156
ｹﾞﾝｺｳ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ADF ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 157

装置内部での紙づまり処理

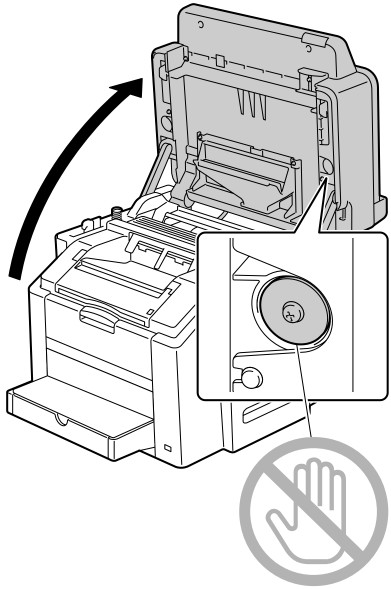
1 スキャナユニット解除レバーを手前に引きます。



スキャナユニットを開く時は、必ず ADF を閉じてから開いてください。



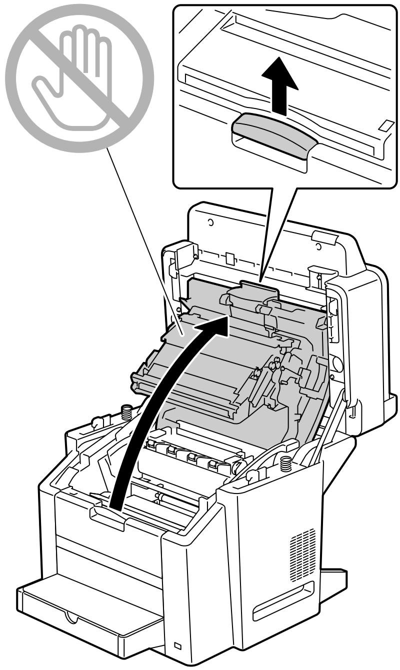
2 スキャナユニットを開きます。



ご注意

スキャナユニット裏側のプレートに手を触れないでください。

3 レバーを引いてトップカバーを開きます。

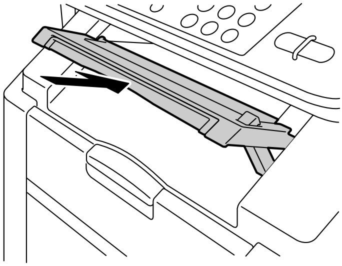


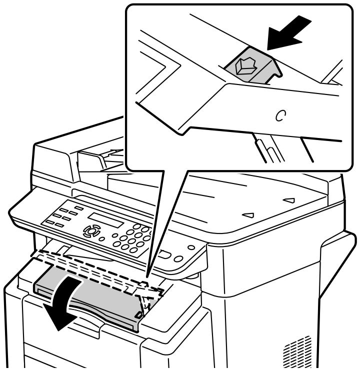
ご注意

転写ベルトに手を触れないでください。

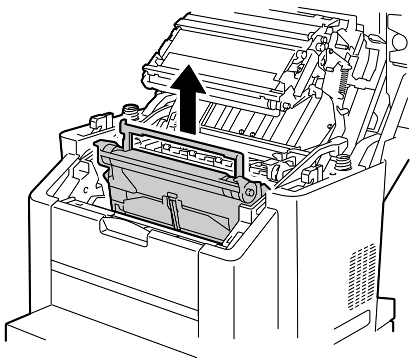
排紙トレイに用紙がある場合には、取り除いてください。

トップカバーを開く時は、必ず排紙トレイを折りたたんでください。



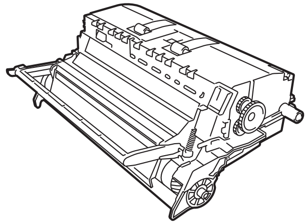


4 ドラムカートリッジを引き抜きます。

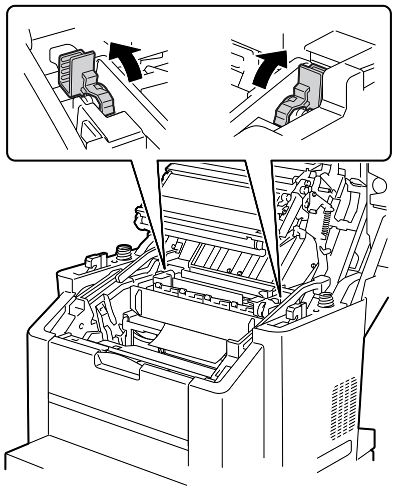


ご注意

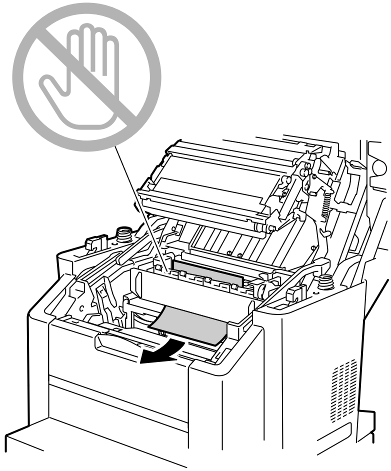
取り外したドラムカートリッジは、汚れていない場所に、右図の向きで水平に置いてください。
取り外したドラムカートリッジは、15 分以上放置しないでください。また、日光などが直接当たる場所には置かないでください。



5 左右にある定着ユニット解除レバーを奥に倒します。



6 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

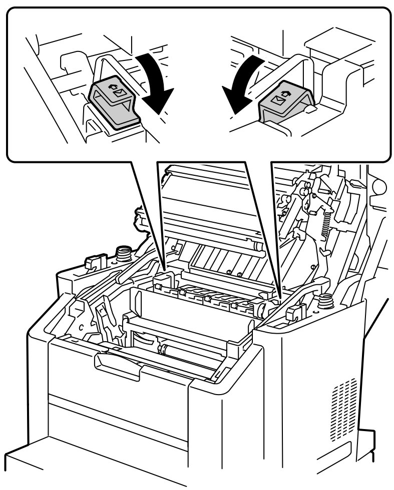


⚠ **注意**

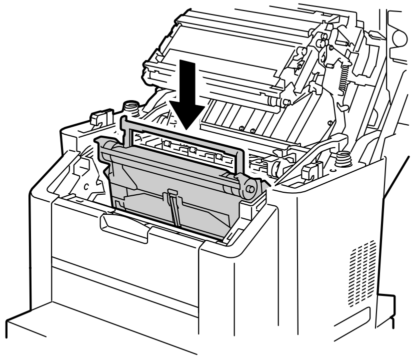
定着ユニット周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので、指定されたレバー以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

用紙は必ず図に示した向きに引き出してください。

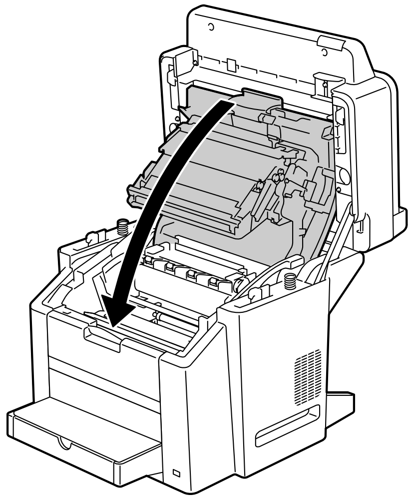
7 左右の定着ユニット解除レバーを元の位置に戻します。



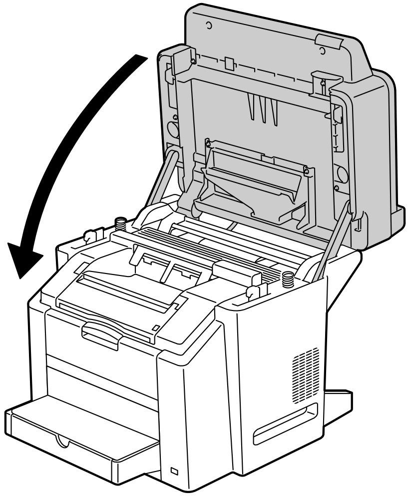
8 ドラムカートリッジをセットします。



9 トップカバーを閉じます。

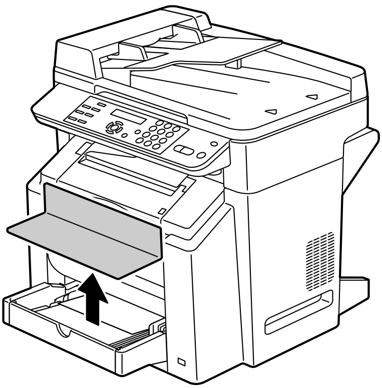


10 スキャナユニットを閉じます。

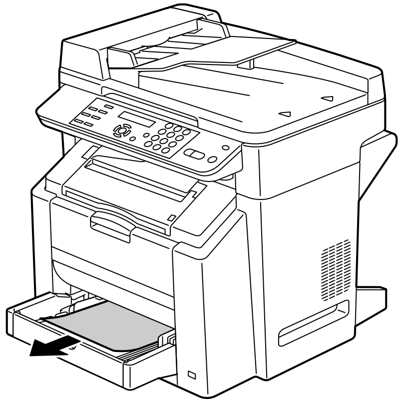


トレイ 1/2 での紙づまり処理

1 ダストカバーのふたを取り外します。

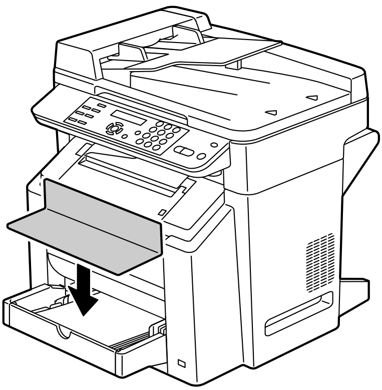


2 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

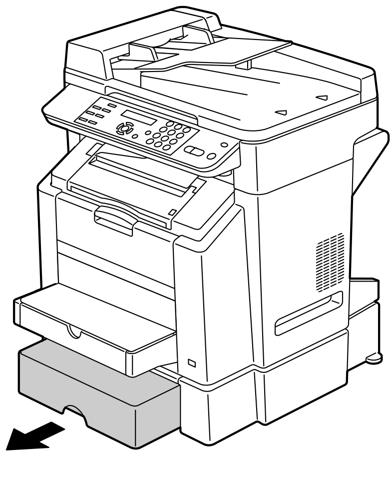


3 ダストカバーのふたを取り付けます。

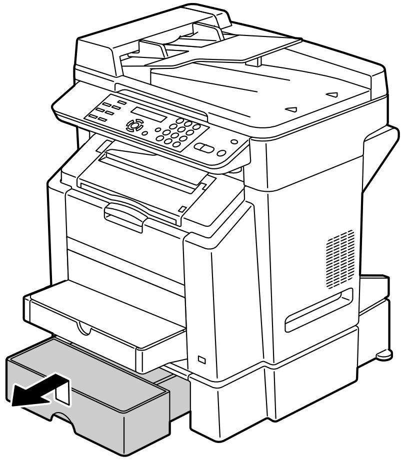
トレイ 2 を使用中に紙づまりが起こった場合は、手順 14 から操作を始めてください。



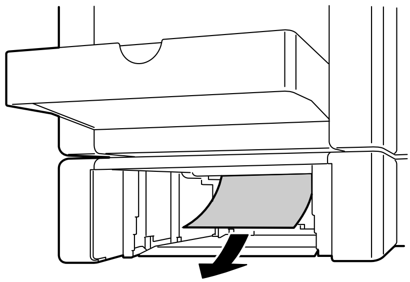
4 トレイ 2 を引き出します。



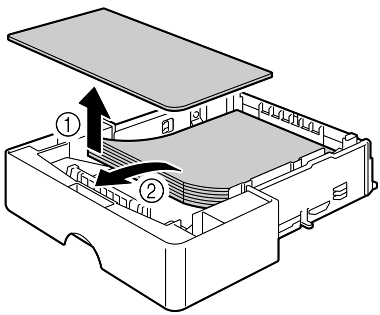
5 トレイ 2 を軽く持ち上げながら、完全に引き抜きます。



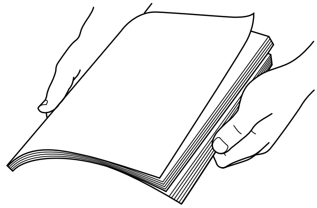
6 つまった用紙をゆっくりと引き出します。



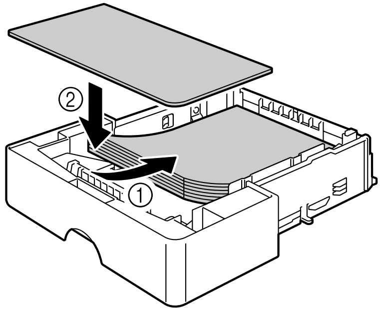
7 トレイ 2 のカバーを取り外し、トレイ内部に残っている用紙を取り出します。



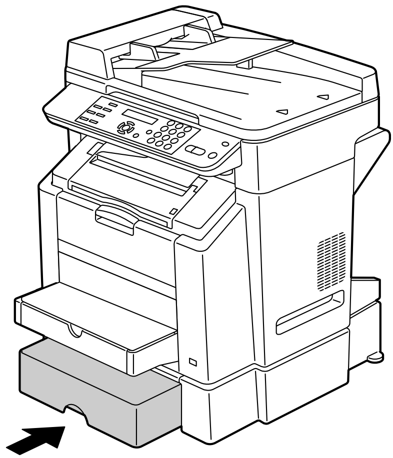
8 取り出した用紙を軽くさばきます。



9 トレイ２に用紙をセットし、カバーを取り付けます。

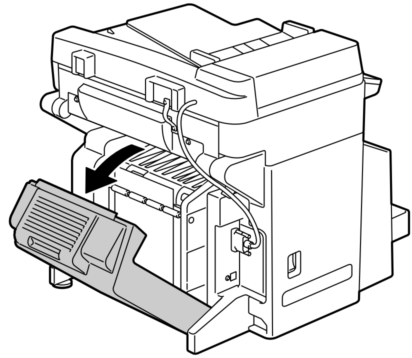


10 トレイ２を本機にセットします。



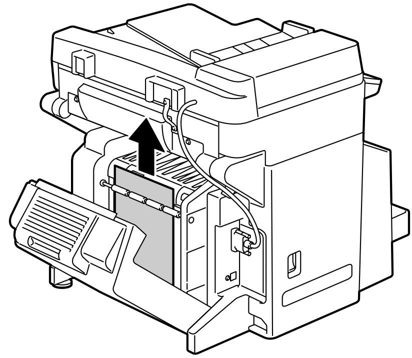
自動両面ユニットでの紙づまり処理

1 両面カバーを開きます。

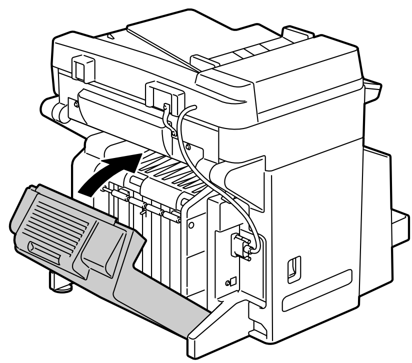


2 つまった用紙をゆっくりと引き出します。

用紙は必ず図に示した向きに引き出してください。

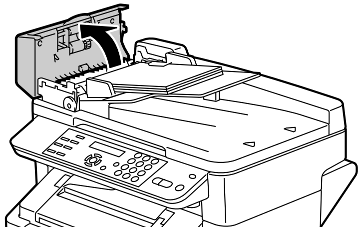


3 両面カバーを閉じます。

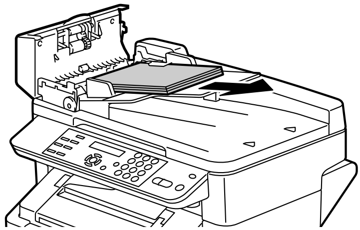


ADF での紙づまり処理

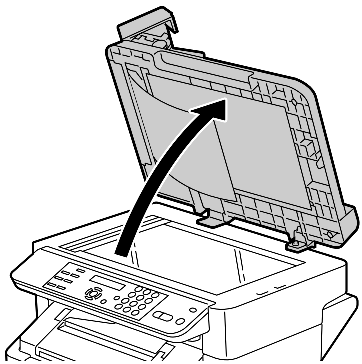
1 ADF カバーを開きます。



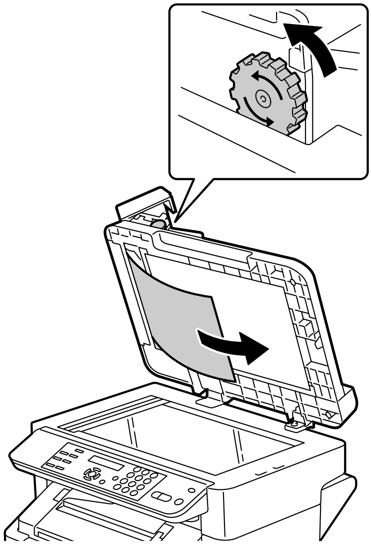
2 残っている原稿を取り除きます。



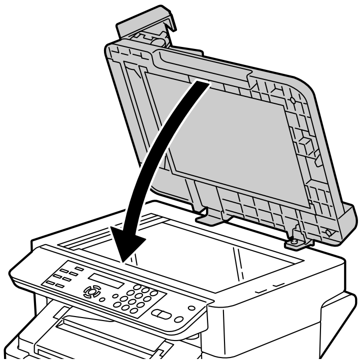
3 スキャナユニットを開きます。



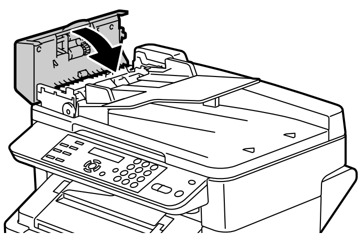
4 原稿送りダイヤルを図の方向に回し、原稿を取り出します。



5 スキャナユニットを閉じます。



6 ADF カバーを閉じます。



紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙や原稿を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	装置をリセットする必要がある。	トップカバーを開閉してリセットしてください。
	装置内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については 、「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、60 ～ 90 g/m² の普通紙で両面印刷ができます。プリンタドライバで両面プリントユニットをインストール済みオプションに設定し、用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		厚紙や封筒、ラベル紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
ADF で紙づまりが起きている	対応していない原稿を使用している。	本機が対応する原稿を使用してください。原稿の種類については 、「原稿について」（p.83）をごらんください。
	原稿の枚数が最大積載量を超えている。	最大積載量を超えている原稿を取り除き、ADF の原稿枚数を減らしてセットしなおしてください。 最大積載量については 、「原稿について」（p.83）をごらんください。
	ガイド板の幅が、原稿サイズに合うように調節されていない。	ADF のガイド板を原稿サイズに合うように調節してください。 詳しくは「原稿をセットする」（p.85）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トレイ 2 に不定形紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、厚紙、レターヘッド、コート紙、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	OHP フィルムまたはラベル紙が、トレイ 1 に逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベルの向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒がトレイ 1 に正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを上側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを右側にしてセットしてください。
	OHP フィルムがトレイで静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつトレイ 1 にセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「装置内部の清掃」（p.128）をごらんください。

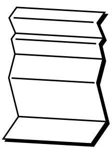
その他の問題

症状	原因	処置のしかた
装置の電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数が装置の仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.192）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰ LOW」が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.192）をごらんください。
設定リストが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。

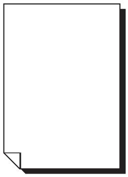
症状	原因	処置のしかた
デジタルカメラからの印刷ができない	デジタルカメラの転送モードがPictBridge に設定されていない。 *PictBridge に対応したデジタルカメラのみサポートしています。*	デジタルカメラの転送モードをPictBridge に設定してください。
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	装置が節電中になっている。	本機が節電中の場合、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のトナーカートリッジがセットされている。 メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰ ﾋｾｲｷﾋﾝﾃﾞｽ」と表示される。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、本機にセットされている用紙と合っているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	［キャンセル］キーが押された。	プリントジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	オーバーレイを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 2480 MF 以外のプリンタドライバで作成されたオーバーレイファイルが選択されている。	オーバーレイを設定する場合は、magicolor 2480 MF のプリンタドライバで書き出したオーバーレイファイルを使用してください。
頻繁に装置がリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面プリントユニットが装着されているか確認してください。
		コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については 、「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。 両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル、はがき、OHP フィルム、光沢紙では両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「装置情報」タブで両面プリントユニットが「あり」に設定されているか確認してください。
		プリンタドライバの「レイアウト」タブの「とじ位置」で「短辺とじ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺とじ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		両面コピーの設定を正しく行ってください。 詳しくは、「両面コピーの設定」（p.95）をごらんください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

症状	原因	処置のしかた
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
小冊子印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	小冊子（左とじ／右とじ）印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
異常音がする	装置が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	装置内に異物がある。	本機の電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
用紙にしわができる 	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。
	封筒の印刷を、定着ユニット解除レバーが普通紙の位置で行っている。	封筒に印刷する場合、定着ユニット解除レバーを封筒の位置にセットしてください。

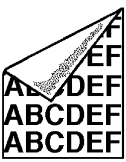
印刷品質の問題

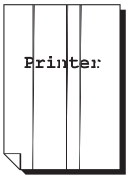
症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際に装置にセットされている用紙が合っていない。	本機に正しい用紙をセットしてください。
	電源が装置の仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

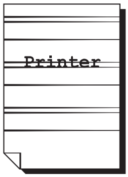
症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
印刷が薄い 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	コピーの濃度設定が薄すぎる。	コピーの濃度を濃く設定してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル紙、官製はがき、厚紙、コート紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。

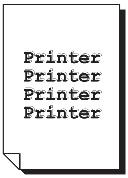
症状	原因	処置のしかた
印刷が濃い  	コピーの濃度設定が濃すぎる。	コピーの濃度を薄く設定してください。
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっている	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。 詳しくは、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.85）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある  	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	原稿ガラスが汚れている。	原稿ガラスを清掃してください。 詳しくは「装置外側の清掃」（p.127）をごらんください。
	原稿カバーパッドが汚れている。	原稿カバーパッドを清掃してください。 詳しくは「装置外側の清掃」（p.127）をごらんください

症状	原因	処置のしかた
濃度が均一でない 	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	装置が水平に置かれていない。	装置を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
画像にムラがある、または一部分が欠ける 	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」(p.56) をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	定着ユニット解除レバーが封筒の位置になっている。	封筒以外を印刷する場合は左右の定着ユニット解除レバーを必ず普通紙側に戻してください。

症状	原因	処置のしかた
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう 	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.56）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル紙、官製はがき、厚紙、コート紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
	定着ユニット解除レバーが封筒の位置になっている。	封筒以外を印刷する場合は定着ユニットのレバーを必ず普通紙側に戻してください。
しみやカスの汚れがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	定着ユニット解除レバーが封筒の位置になっている。	封筒以外を印刷する場合は左右の定着ユニット解除レバーを必ず普通紙側に戻してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく） 	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
		給紙ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる  	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
画像が欠ける  	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
横方向に線や帯が現れる 	装置が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰ LOW」または「X ﾄﾅｰ ｴﾝﾌﾟﾃｨ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	トップカバーがしっかり閉まっていない。	トップカバーをしっかり閉じてください。
	ドラムカートリッジが正しくセットされていない	ドラムカートリッジを取り出し、セットし直してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
ラインアートがカラーで印刷されない	カラーマッチングをオフにしていない状態で、ラインアートを 2400 × 600dpi で印刷している。	プリンタドライバの「品質」タブで、カラーマッチングをオフに設定する。 解像度を 1200 × 600 または 600 × 600dpi に変更する。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い  	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。本機の情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙﾁｭｳ	プリントジョブがキャンセルされています。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
＊ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ＊	節電機能がはたらいています。節電中になり動作していない間は、消費電力が少なくなります。	
ｶﾞｿﾞｳﾃﾝｶｲﾁｭｳ	デジタルカメラから送られた画像データを展開中です。	
ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ！	本機は次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーション（75 秒間未満）を行います。 • 本機の設定を変更し再起動した後 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、本機の印刷品質を最適に保つために行われます。	
	ウォームアップ中です。	

エラーメッセージ（警告：メッセージウィンドウに表示）

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾞﾗﾑ ↕（交互に表示） LOW	ドラムカートリッジが寿命に近づいています。	新しいドラムカートリッジを用意してください。
X ﾄﾅｰ ↕（交互に表示） ﾋｾｲｷﾋﾝﾃﾞｽ	X トナーが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.109）を参照してください。
X ﾄﾅｰ ↕（交互に表示） LOW	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。あと 200 ページ（A4/ レターサイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
ﾄﾚｲ X ↕（交互に表示） ｴﾝﾌﾟﾃｨ	トレイ X （トレイ 1 またはトレイ 2 ）に用紙がありません。	表示された給紙トレイに用紙をセットしてください。

エラーメッセージ（警告）

メッセージ	意味	処置のしかた
ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ ↕（交互に表示） ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムカートリッジが寿命です。	ドラムカートリッジを交換してください。 詳しくは「ドラムカートリッジの交換」（p.117）をごらんください。
ｹﾞﾝｺｳｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ ADF ﾍ	ADF に原稿がセットされていません。	ADF に原稿をセットしてください。 詳しくは「ADF 上に原稿をセットする」（p.86）をごらんください。
X ﾄﾅｰ ｴﾝﾌﾟﾃｨ ↕（交互に表示） ｺｳｶﾝ X ﾄﾅｰ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.109）を参照してください。

エラーメッセージ（オペレーターコール）

メッセージ	意味	処置のしかた
ADF ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ADF ｶﾊﾞｰｦﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF カバーが開いています。	ADF カバーを閉じてください。
ｾﾂｿﾞｸｼﾀｶﾒﾗﾊ ｻﾎﾟｰﾄｼﾃｲﾏｾﾝ！	PictBridge に対応していないデジタルカメラが、カメラダイレクトポートに接続されています。	PictBridge に対応しているデジタルカメラを使用してください。
ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ ↕（交互に表示） ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムカートリッジ内の廃トナーボトルがいっぱいになりました。	ドラムカートリッジを交換してください。
ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｦﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	両面カバーが開いています。	両面カバーを閉じてください。
ﾘｮｳﾒﾝ ｼﾀ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	自動両面ユニットで紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾘｮｳﾒﾝ ｳｴ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ		
ｼｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ｼｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰｦﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	トップカバーまたは正面カバーが開いています。	トップカバーまたは正面カバーを閉じてください。
ﾃｲﾁｬｸ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	定着ユニットで紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟｴﾗｰ ↕（交互に表示） ﾎｼﾞｭｳ XX	用紙トレイにセットされた用紙の種類が正しくない。	トレイ 1 に正しい用紙をセットしてください。
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰｴﾗｰ	本機が、メモリで処理できる量以上のデータを受信しました。	本機の電源を切り、数秒後に電源を入れてください。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。
ｹﾞﾝｺｳ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ADF ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾊｲｼﾄﾚｲ ｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ↕（交互に表示） ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	排紙トレイの用紙がいっぱいになっています。	排紙トレイの用紙を取り除いてください。
ｷｭｳｼﾐｽ ↕（交互に表示） ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイの給紙部で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ ↕（交互に表示） ﾎｼﾞｭｳ XX	用紙トレイにセットされた用紙のサイズが正しくない。	トレイに正しい用紙をセットしてください。
ｽｷｬﾅﾕﾆｯﾄｶﾞｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ｽｷｬﾅﾕﾆｯﾄｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	スキャナユニットが開いています。	スキャナユニットを閉じてください。
ｻｲｽﾞ/ﾀｲﾌﾟｴﾗｰ	本機の対応していない用紙（サイズ、厚さ、種類など）がセットされている。	正しいサイズ・種類の用紙をトレイにセットしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｻｲｽﾞ /ﾀｲﾌﾟｴﾗｰ ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ	用紙が両面印刷に対応していない。	両面印刷に対応したサイズ・種類の用紙をセットしてください。
ﾄﾅｰ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ ↕（交互に表示） ｺｳｶﾝ X ﾄﾅｰ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 詳細については「トナーカートリッジの交換手順」（p.109）を参照してください。
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰ ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ↕（交互に表示） ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｦｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	転写ローラー部で紙づまりが起きています。	つまっている用紙を取り除いてください。
ﾄﾚｲ 2 ｶﾞｱｲﾃｲﾏｽ ↕（交互に表示） ﾄﾚｲ 2 ｦﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイ 2 が取り付けられていないか、トレイが正しくセットされていません。	トレイを正しくセットしてください。
ﾋﾞﾃﾞｵｱﾝﾀﾞｰﾗﾝｴﾗｰ	印刷するデータの量が、本機内部の転送速度を上回っています。	本機の電源を切り、数秒後に電源を入れてください。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
AIDC ｾﾝｻｰｴﾗｰ	AIDC センサーにエラーが検出されました。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
＊ｹｲｺｸ！＊ ｿｳﾁ ﾄﾗﾌﾞﾙ ↕（交互に表示） ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ （XX）	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。	本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

オプションの取り付け 11

はじめに

ご注意

本機は、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明
自動両面ユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。
トレイ 2	500 枚給紙トレイ

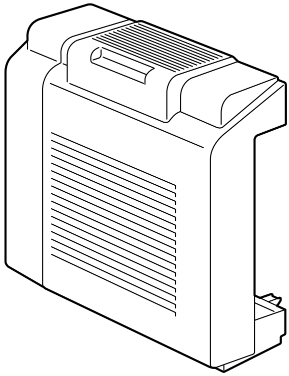
ご注意

オプションを取り付ける際は、必ず本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

オプションについて詳しくは、弊社ホームページにてご確認ください。

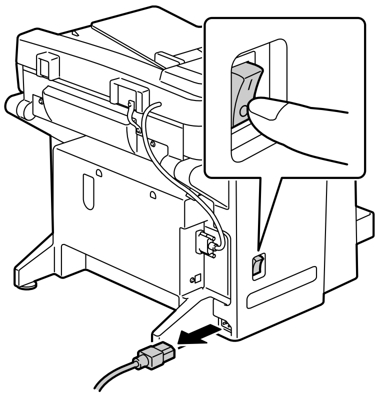
自動両面ユニットの取り付け

自動両面ユニットを装着すると、両面印刷を行うことが可能です。詳しくは、「両面印刷」（p.81）をごらんください。



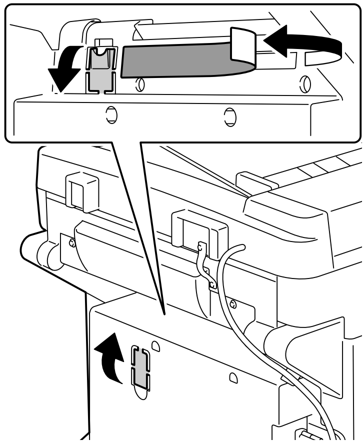
自動両面ユニットの取り付け

1 本機の電源を切り、電源ケーブルを取り外します。



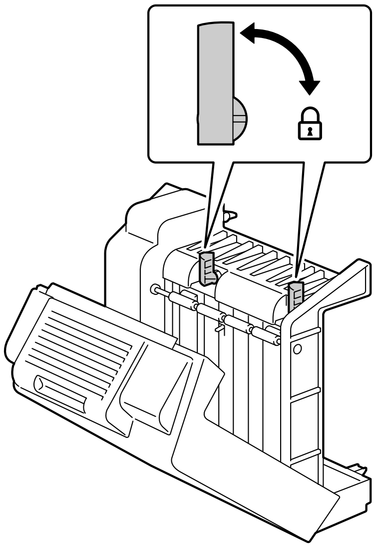
2 背面についているカバー（2 箇所）を取り外します。

テープも取り外してください。



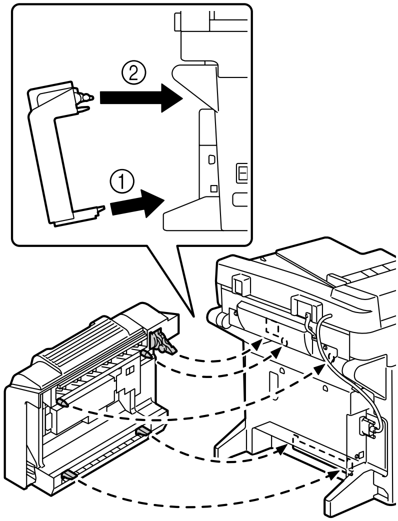
3 自動両面ユニットを用意します。

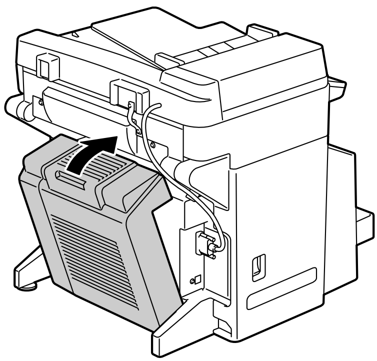
取り付ける前に両面カバーを開き、2 箇所のノブが垂直の位置になっていることを確認してください。確認後、カバーを閉じてください。



4 図のように、自動両面ユニットの爪を本体の取り付け用孔に差し込んで、自動両面ユニットを取り付けます。

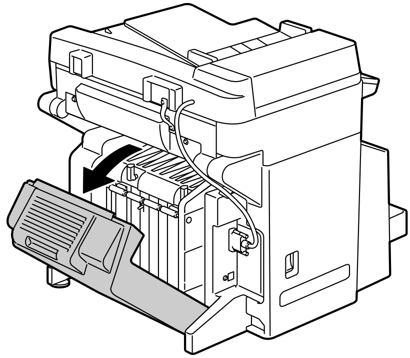
先にユニット下部の 2 箇所の爪を差し込み、次に上部の爪を差し込んでください。





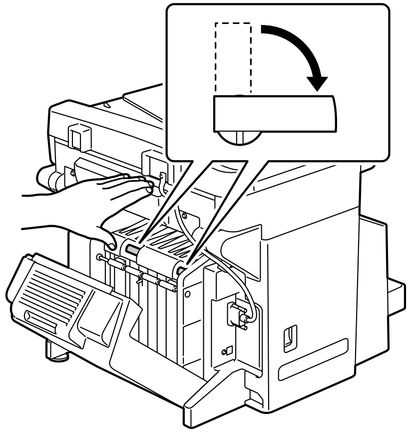
5 両面カバーを開きます。

自動両面ユニットは、確実に固定されるまで両手で支えてください。

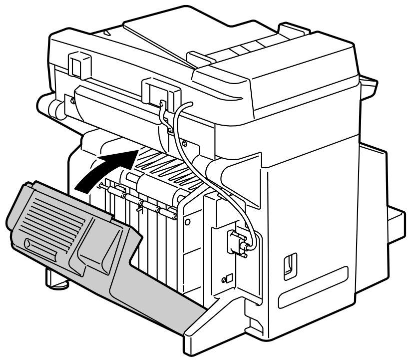


6 自動両面ユニットを本体に押しつけて、2 箇所のノブを水平の位置まで回し、自動両面ユニットを本体に固定します。

ノブが 2 箇所とも確実に固定されていることを確認してください。

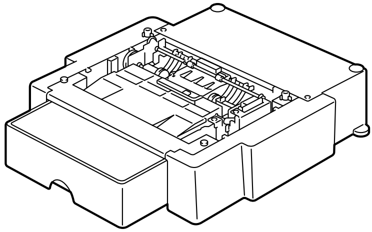


7 両面カバーを閉じます。



トレイ 2 の取り付け

給紙ユニット（トレイ 2）を取り付けることができます。トレイ 2 には A4/ レターサイズの用紙を 500 枚までセットできます。



トレイ 2 の取り付けかた

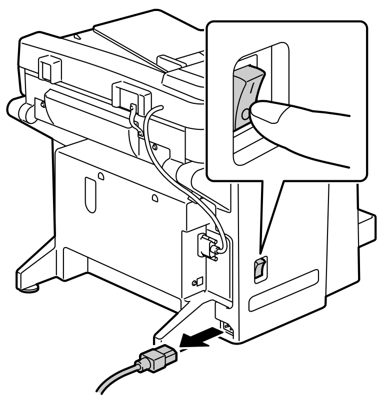
ご注意

本体には消耗品が取り付けられているため、本体を動かすときは、トナーがこぼれないよう本体を水平にして運んでください。

ご注意

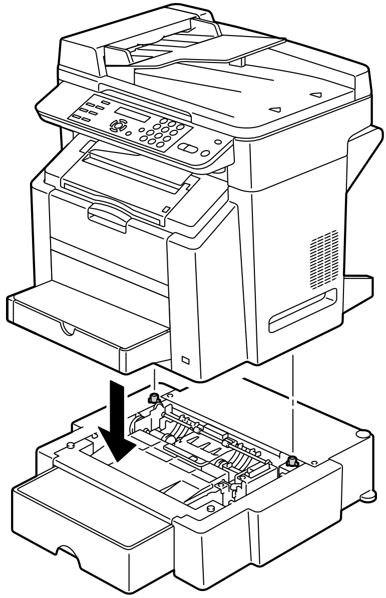
トレイ 2 の取り付けは、なるべく本体をセットアップする前に行ってください。用紙、消耗品などが先にセットアップされると、本体は重くなり、トレイ 2 の取り付けがむずかしくなります。

1 本機の電源を切り、全てのケーブルを取り外します。



1 本機を2人で持ち、トレイ2の位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

トレイ2を水平な場所に置いてから、本機をセットしてください。



ご注意

本機は消耗品を含めて約 32 kgの重量があります。本機を移動する場合は、必ず適切な人数で行ってください。

2 プリンタドライバでトレイ2を正しく設定します。

プリンタドライバの設定方法については、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定」（p.23）をごらんください。

付録 A

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ（AIO）
印刷方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	2400 dpi × 600 dpi, 1200 dpi × 600 dpi, 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	片面 モノクロ： 12.0 秒（A4/ レターの場合） フルカラー： 21.0 秒（A4/ レターの場合）
ファーストコピー時間（普通紙）	片面 モノクロ： ノーマル　23.0 秒（A4/ レターの場合） ファイン　25.0 秒（A4/ レターの場合） フルカラー： 52.0 秒（A4/ レターの場合）
プリント / コピー速度（普通紙）	片面 モノクロ： 20.0 枚／分（A4/ レターの場合） フルカラー： 5.0 枚／分（A4/ レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 45 秒
用紙サイズ	トレイ 1（手差しトレイ） 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm トレイ 2（オプション） A4/ レター

用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙（91 ～ 163 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙
給紙容量	トレイ 1（手差しトレイ） 普通紙、再生紙：200 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙、OHP フィルム、 レターヘッド、光沢紙：50 枚 トレイ 2（オプション） 普通紙、再生紙：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：100 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力 : 1100 W 節電モード時：28 W 以下 電源オフ時：0 W
消費電流	11.0 A 以下
ノイズレベル	印刷時：53 dB 以下 57 dB 以下（ADF 使用時） スタンバイ時：39 dB 以下
外形寸法	高さ：531 mm 幅：528 mm 奥行：475 mm

質量	プリンタ本体：約 32.0 kg 製品に付属のトナーカートリッジ： 0.58 kg（Y、M、C、K） 交換用トナーカートリッジ 0.63 kg (Y、M、C) 交換用カートリッジ（大容量）: 0.70 kg（Y、M、C、K）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠
メモリ	96 MB

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）: 約 4,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
ドラムカートリッジ	約 45,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で､A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には、上記消耗品の他に、製品の性能を保証するために定期交換が必要な部品があります。

定期交換部品は、交換時期を過ぎた場合でも、お使いの製品に特に異常が無いときは、交換を行わないでそのままご使用いただいても問題ございません（ただし性能の保証はできませんのであらかじめご了承ください）。

定期交換部品	平均の寿命の目安
定着ユニット	約 120,000 ページ
転写ベルト	約 135,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 33,700 ページ（カラー連続印刷） 約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 22,500 ページ（カラー間欠印刷）
転写ローラー （転写ベルトに同梱）	約 120,000 ページ

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラム対応

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

索引

ら

り

れ